

平成 20 年度宮前区区民会議企画部会(第 1 回)

平成 20 年 7 月 30 日(水) 18 時 30 分 ~ 20 時 30 分

宮前保健所集団教育ホール

次 第

1 開 会

2 議 事

- (1) 平成 19 年度宮前区協働推進事業の評価について
- (2) 第 1 期宮前区区民会議からの提案に対する取組状況について
- (3) 各部会の審議状況について
 - ア 公園・地域づくり部会
 - イ 宮前区の宝さがし～ときめき再発見～部会
- (4) 今後のスケジュールについて
- (5) 第 2 回宮前区区民会議の議事について

3 その他

配布資料

- 資料 1 平成 19 年度宮前区協働推進事業評価書
- 資料 2 第 1 期宮前区区民会議からの提案に対する取組状況
- 資料 3 宮前区区民会議 公園・地域づくり部会の審議状況
- 資料 4 宮前区区民会議 宮前区の宝さがし～ときめき再発見～部会の審議状況
- 資料 5 第 2 期宮前区区民会議 今後のスケジュール(案)
- 資料 6 平成 20 年度第 2 回宮前区区民会議 次第(案)

平成19年度 宮前区協働推進事業評価一覧表

NO	事業名	目的及び内容	開始年度	予算額(円)	追加予算額(円)	決算見込額(円)	不用額(円)	事業評価総合評価	次年度以降の事業計画	具体的な展開方針	優先度	担当課
1 区民との協働によるまちづくりをめざして												
1	まちづくり推進事業	区民と行政との協働による魅力あるまちづくり推進のため、区民、地域団体、企業の代表、行政を構成員とした、まちづくり協議会を設置し「宮前区区づくりプラン」の推進及び実現を目指す。平成19年度の理事会開催数は12回で、参加人数は毎回15人(定数23人)程度。市民活動への支援事業、市民団体のネットワーク化などの中間支援機能について議論された。	平成9年度	7,592,000	0	6,509,774	1,082,226	中間支援機能を担う組織として「つなぐ、むすぶ、ひろげる」といった活動に取り組むことが出来た。今後も目的に沿った活動を推進していく。	見直し・改善の上継続	平成19年度は中間支援機能を担う活動の最初の一步を踏み出した。今後は資金支援の継続、ネットワーク化の促進を図り、市民団体への情報提供を強化するなど「つなぐ、むすぶ、ひろげる」といった取り組みを推進していく。	A	地域振興課
2	東名川崎IC周辺整備推進に関する事業	川崎市北部の玄関口としての東名川崎インターチェンジ周辺の景観を整備することにより、川崎のイメージアップを図る。また、町内会の役員や地域住民と協議会委員で構成された景観部会で、魅力的なまちの形成に向けて、地域性を活かした愛着ある空間を目指し、「デザイン提案集」を作成する。なお、当初予定していた橋脚へのラッピングアートは、中日本高速道路(株)が橋脚への耐震補強工事を実施したため、景観整備として花壇整備へ変更して実施。協議会2回 花壇づくり2回 景観部会6回 緑部会2回	平成16年度	3,316,000	0	3,285,768	30,232	今後のまちづくりの指針となる「デザイン提案集」を完成するとともに、地域住民で組織する団体を設立し地域で花壇の管理を行うしくみの土台づくりもできた。また、景観整備としてインターチェンジ周辺の花壇整備を実施し、周辺のイメージアップを図ることができた。	見直し・改善の上継続	平成23年度に完成予定の藤子・F・不二雄ミュージアムの整備に合わせた東名川崎ICから生田緑地等までのサイン整備は区課題として今後検討していき、花壇などの整備は引き続き地域住民で組織する団体と協働で整備を行っていく。	B	地域振興課
3	区制25周年 浄水場通り壁画作成事業	平成6年に、市制70周年記念事業として、浄水場通りの壁面に宮前区子ども会連合会の子ども達による壁画を作成したが、作成から13年が経過し、壁面の劣化・損傷が激しくなってきたことから、経費等を勘案し、コーティング等を施して壁画壁面を補修・維持するのではなく、平成19年度の宮前区誕生25周年を期に新たに作成する。平成19年8月実施	平成19年度	939,000	180,000	1,119,000	0	今回完成した壁画も将来的に劣化の問題が生じると考えられるが、子ども達が主体となり、大人達がサポートして宮前区のまちづくりを推進する土壌を作り上げることができた。	終了する			地域振興課
4	カッパーク鷺沼地域交流・活性化促進事業	平成18年4月に新しくオープンした「カッパーク鷺沼」を、区のシンボルゾーンとして子どもから大人まで、様々な世代、立場の人が交流できるような場所に、また、この場所を核に地域コミュニティの振興やまちの活性化が図れるように、小学校、地元商店街、町内会等と協働してイベントを開催する。 開催日:平成19年8月4日(土) 場所:カッパーク鷺沼 来場者数:3,500人	平成18年度	2,185,000	0	2,084,155	100,845	カッパーク鷺沼がオープンして3年目であることから引き続き区のシンボルゾーンとして周知していくとともに、小学校関係者や周辺地域の主体的な取組による事業展開となるよう段階的な取組が必要と考える。	終了を見越して継続する	「カッパーク鷺沼」を区のシンボルゾーンとして定着させ、同地区を中心としたエリアで、多様な交流を促し、地域の活性化やコミュニティ形成に寄与できる催しを実施する。将来的には、地域主体で開催されるよう、地域の参加を積極的に促していく。	B	企画課
5	地域課題の解決に向けた事業提案委託制度	地域の課題を区民自らが発見し課題解決を図ることをめざし、広く事業提案を募集・選考し、選考された事業を市民活動団体に委託する。平成19年度実施事業:映像コンクール、緑の回廊マップづくり、落書き消し	平成18年度	1,184,000	0	1,079,714	104,286	各事業の成果があったが、実施団体と区役所との役割分担が明確でない部分があるため、区役所への要望が多くなりがちであることから、制度を安定して継続させるためには、より一層各団体を自立させていくことが求められる。	見直し・改善の上継続	20年度は、事業協力+負担金という形で事業実施する。また、同一事業・団体について何年間継続を認めるかという課題があるため、その見直しを行っていく。	B	企画課
6	区制25周年 みやまえ区民フォーラム	地域活動団体とテーマ別に社会貢献活動をしている団体が協力し、それぞれの持つノウハウや課題を区民へ発信することで、区民が地域での活動を始めるきっかけ作りに活用してもらうとともに、市民活動の活性化を図ることを目的としたイベントの開催。開催日:平成20年3月1日・2日 場所:市立土橋小学校 来場者数:1,500人 第6回市民自治創造・かわさきフォーラム(以下「自治フォーラム」)と合同で開催	平成18年度	1,541,000	0	1,528,570	12,430	自治フォーラムと合同で開催したことにより大きな相乗効果があった点について評価できる。しかしながら、同じ目的を達成する手法として宮前区まちづくり協議会との協働があり、今後は同会との協議・調整により合理化を図るべきである。	終了する	今後は、市民活動参加へのきっかけづくりや市民活動の活性化というイベントの開催目的を鑑みて、本イベントの実施主体でもあり市民活動への支援、市民団体のネットワーク化などの中間支援を目指す宮前区まちづくり協議会との協働によるまちづくり推進事業の一環として、実施形態を含めて協議、検討する。		地域振興課
7	鷺沼駅前ロータリーにおけるイベント等支援事業	鷺沼駅前には多くの区民が利用する場所であり、ロータリーでは東急電鉄から区が借り受けて区民との協働により植栽やイルミネーションを行っている。ロータリーで効果的にイベントを行う環境を整備することで、区内外からの訪問者への区の魅力発信に寄与する。ロータリーの電源設備を最大30アンペアまで使用できるよう、ブレーカー等を交換し、駅前で市民団体が公益的な活動を行う場合や区のイベント等を行う場合に、東急電鉄との協議の上、開催の支援を行う。	平成19年度	0	92,000	91,770	230	イルミネーションについては、区と市民活動団体との協働で効率的に事業を実施する環境を整えることができた。また、今回改修した電源設備については、多くの人々が利用する場所であることから、今後は区での各種啓発イベント等に利用していく。	終了する	予算措置のある事業としては終了であるが、イルミネーション事業は市民活動団体と協議しながら継続して開催していく。また電源設備については今後様々な事業等で積極的な活用を図る。		地域振興課
8	シニアパワー活用支援事業	団塊世代の活力を地域で活かし、また、シニア世代の今後の生きがい作りをサポートするために、相談員によるよろず相談窓口の充実や講演会、コーディネートを学ぶ講座を開催する。「よろずシニア本舗相談窓口」開設回数:51回(臨時開設含む) 相談件数 56件。「コーディネートを学ぶ講座」(連続3回講座)参加者:13人(全日参加者10人)「大人の文化祭inみやまえ」(開催日:平成20年2月11日(祝)市民館 来場者数:約400人)	平成18年度	74,000	1,366,000	1,323,296	116,704	シニア世代の自己実現を図りつつ、その能力が地域社会で発揮され、地域課題の解決に繋がっていくには、当面、改善を係りつつ、継続していくことが必要である。	見直し・改善の上継続	シニア世代の自己実現を支援しつつ、同時に地域社会の活性化・地域課題の解決を図っていくためには、各事業の実施に際して内容を検討しつつ、より効果的な情報発信等ができるよう工夫していく必要がある。	A	企画課

平成19年度 宮前区協働推進事業評価一覧表

NO	事業名	目的及び内容	開始年度	予算額(円)	追加予算額(円)	決算見込額(円)	不用額(円)	事業評価総合評価	次年度以降の事業計画	具体的な展開方針	優先度	担当課
2 地域で支えあい安心して暮らせるまちづくりをめざして												
9	歯つらつお口のコミュニティケアプラン事業	区民が、自身の口腔の健康を正確に認識し、口腔の健康の保持・増進に強い関心を持つことにより、う蝕・歯周病等の口腔疾患の予防・早期発見に資することを目的とする。歯の健康手帳の作成(発行部数 5000冊 発行場所:平成19年度就学時健康診断時、宮前区役所保健福祉センターでの健康教育、宮前区役所での講演会、宮前区歯科医師会での健康教育)	平成17年度	2,050,000	0	1,949,890	100,110	「歯の健康手帳」活用により、自分自身の口腔の健康を正確に認識し、口腔の健康の保持・増進に強い関心を持つようになり、区民の口腔の健康に対する関心が非常に高まった。	終了する			地域保健福祉課
10	子育て支援事業	広く区民に対し、子育て情報を提供する。育て支援関係者の連携を強化し、安心して子育てできる地域づくりを進める。子育て情報かわら版の発行、年2回、各20,000部(町内会・自治会への回覧等)子育て支援関係者連絡会(年6回偶数月)の参加により、情報交換、区内の支援体制の協議を行う。	平成16年度	404,000	214,000	590,440	27,560	子育て世帯が安心して子育てができるようバックアップができ、関係者、団体との連携が強化され相互理解が深まった。区民会議の報告に対する取り組みとして、子育て支援関係者との連携協働をさらに充実・強化するため、連絡会を見直し、運営方法、要綱を整備した。	見直し・改善の上継続	子育て情報かわら版の発行は、改正が見込まれる子育てガイド「とことこ」の補完とタイムリーな情報提供が目的のため、内容の検討が必要である。平成20年度は平成21年度に向けて内容を検討し、年2回発行する。	B	保健福祉サービス課
11	親子の集いと居場所づくり推進事業	子育ての不安・孤立感を軽減し、地域との交流を持てるよう、赤ちゃん広場、子育てサロンなどの自由に参加できる広場・サロン等の充実を図る。子育て中の母親から、子育ての悩みや親子の集いと居場所についての状況、区の子育て支援事業に対する認知度・感想などを調査し、子育ての現状把握を行って今後の施策の課題を明らかにする。	平成19年度	1,486,000	154,000	1,531,093	108,907	「子育てまちづくり懇談会」の開催やアンケート調査の実施により、子育て支援を行っていくための現状把握と今後の課題等を明らかにすることができた。	終了する			こども支援室
12	子ども支援ネットワーク事業	宮前区子ども総合支援関係者懇談会を開催し、子どもに係る関係機関・団体等とのネットワーク強化を図る。また、虐待など要支援児童等の早期発見・支援に向けた連携・ネットワークを強化するため、専門のスーパーバイザーのもとに、事例検討会や研修会(講演会)を実施する。	平成19年度	285,000	0	229,068	55,932	区内の子どもに係る関係機関・団体等のネットワークの強化が図れた。	見直し・改善の上継続	ネットワークの強化は今後も必要であるが、事例検討会については、回数や内容等を検討しながら展開していく。	A	こども支援室
13	親と子の子育て応援セミナー事業	宮前区内の在宅中の親子を対象として、「親の育児力」をつけるために、子育てに関する知識と技術を持つ公立保育園の人材を活用し、子育てに関する相談・親と子の学習の機会及び交流の場を提供する。	平成19年度	338,000	0	300,158	37,842	地域の中で、親の育児力向上を図ることができ、子育ての仲間づくりへと発展した。	見直し・改善の上継続	会場、対象者、講座内容等について、見直しながら充実させていく。	B	こども支援室
14	安全・安心まちづくり推進事業	区民、地域団体、事業者、行政機関等の連携・協働により、防犯・防火・交通安全などの推進を図り、「宮前区安全・安心まちづくり推進協議会」を軸として、各種事業・施策の展開を図る。また、子ども安全・安心協議会は、区内の学校、保護者をはじめ、地域住民、事業者、関係団体、警察、行政機関が連携・協働し、子どもを犯罪から守り、登下校時等における地域の安全確保を目的として活動を行った。	平成18年度	1,484,000	0	1,328,079	155,921	安全・安心まちづくりは、日々の取り組みが非常に重要であり、宮前区内では、これまでの町内会・自治会の取り組みの成果もあり、最近では大きな街頭犯罪は目立っていない。	見直し・改善の上継続	引き続き啓蒙等犯罪防止の広報活動に努める。また、今後は防犯活動だけでなく、防災や交通安全活動も幅広く支援し、「安全安心」なまちづくりに努める。また、「子ども自ら、自分の身を守る」ことを目的とした取り組みも行っていく。	A	地域振興課 / こども支援室
15	安全・安心まちづくり「壁画」パネル展示事業	「第二梶ヶ谷架道橋」「東名1トンネル」及び浄水場通りにそれぞれ作り上げられた壁画は、地域、学校、企業と行政の協働で完成し、犯罪を防ぎ「安全安心なまち」を作り上げるといった願いへのシンボルであり、その成果を広く区民に広報し、更なる協働を推進するためにパネルを作成し、展示をおこなった。	平成19年度	0	347,000	346,500	500	現在は区役所4階に展示しているが、野川地区から離れた区民も壁画を見ることができるといった好評も得ている。	終了する			地域振興課
16	第26回宮前区民祭区誕生25周年企画	宮前区誕生25周年を記念し、区民祭でイベントを実施し、地域に対する愛着を高めることが目的である。ミニ体力自慢コーナーは、区民祭で従来から行っている体力テストコーナーと川崎フロンターレ主催のキックターゲットコーナーを連携させ、区民の健康づくり意識を高め、みやまえフォトコンテスト作品展示会では区まちづくり協議会と宮前区観光協会を連携させ、区内の名所等を区民に紹介した。	平成19年度	0	605,000	565,275	39,725	恒例イベントとしての継続希望も多く、事業自体は成功といえる。区民祭自体は区民が作り上げるものであることから、今後は今回のイベントを参考に、区民自身が企画運営できる土壌を作り上げることが必要である。	終了する			地域振興課
17	区内公立保育園の保育相談の看板設置	公立保育園における地域からの保育相談を充実するため、各保育園(11園)で個々に設置している老朽化した看板を、保育士がデザインした看板に新しく設置し直し、保育園の存在と保育相談について区民に広くPRする。	平成19年度	0	58,000	46,200	11,800	明るい看板で、地域の人達に保育園の存在もPRできた。	終了する			こども支援室
3 豊かな心とふれあいを育むまちづくりをめざして												
18	みやまえロビーコンサート	来庁する区民にうるおいのある時間を過ごしてもらい、親しまれる区役所の実現をめざし毎月1回区役所2階ロビーでコンサートを開催する。来場者数は毎回200人前後、毎回レベルの高い奏者を迎え様々な音楽を提供している。	平成5年度	2,778,000	0	2,772,000	6,000	毎回多くの区民が来場し、定期開催のコンサートとして定着している。出演アーティスト、コンサートの内容共に質の高い、バラエティに富んだものとなり、区民に区役所をより身近に感じてもらう、うるおいのある時間を提供することができた。	見直し・改善の上継続	11月には区制25周年記念として開催し、多くの区民に良質なコンサートを提供できた。来場者数が増えているため、コンサートの形態や安全面等を検討・改善していく必要がある。	B	地域振興課

平成19年度 宮前区協働推進事業評価一覧表

NO	事業名	目的及び内容	開始年度	予算額(円)	追加予算額(円)	決算見込額(円)	不用額(円)	事業評価総合評価	次年度以降の事業計画	具体的な展開方針	優先度	担当課
19	区制25周年 太鼓ミーティング	太鼓を通して宮前区の文化伝統を再認識するとともに、演奏者・来場者相互の交流を深めるためのイベント。実行委員会が企画・運営を行っている。19年度は出演団体も実行委員として参加し、共にイベントを創り上げた。また区制25周年記念企画の演奏も実施した。開催日:8月25日、場所:第1部・宮前市民館ホール、第2部・市民広場、来場者数:約2000人	平成11年度	1,622,000	0	1,621,089	911	プログラム編成、会場の雰囲気作り共に趣向を凝らしており、情緒ある夏のイベントとして幅広い世代の区民に親しまれている。出演団体が企画段階から参加したことで、太鼓の担い手、それを支える区民や地域、観客が、より区内の伝統文化を共有・共感できるイベントとなった。	見直し・改善の上継続	実行委員会の熟度が高く、出演団体も参加したことで、自主的に様々な企画・運営を行える環境が整いつつある。出演団体同士のネットワークを広げ、地域との繋がりを深め、それぞれの役割の下、より主体的な運営ができるように方法を検討していく。	B	地域振興課
20	友好都市交流事業	平成8年度から「個性豊かな新しい都市生活文化を創造する区」の実現をめざすため、長野県佐久市との交流を開始。友好都市交流委員会:4回開催 市民間交流事業:2団体にバス借上げ料の一部を助成 その他:佐久市に関する広報・PR(区民祭、ふれあいフェスタでの物産展への招致など)	平成8年度	608,000	0	237,666	370,334	交流を開始してから、一定の成果を得られた。宮前区観光協会が発足したため、今後は交流の主体を観光協会に移し、より充実した交流を図っていく方法を検討していく必要がある。	終了を見越して継続する	市民が佐久の文化に触れるきっかけを提供することができ、委員会としての一定の役割を果たすことができた。今後は観光協会を主体に交流を行い、委員会としての活動は20年度で終了する。交流支援については事業を別立てすることも含め検討していく。	B	地域振興課
21	みやまえスポーツふえすていばる	スポーツ技術の向上、健康増進を目的として、区民に対してスポーツ参加意識の向上を図っている。内容としては女子バレーボール、ソフトボール大会などは、一定のチーム力を持ったグループが争う大会とし、新規参加を促すより、限られた参加チームによる大会内容のレベルアップを目的としている。歩こう会やディスカバーウォークなどは、区民同士のふれあいや、高齢者や若年層の健康増進を図ることなどが目的であり、広報を通じ、広く参加者を募っている。	平成5年度	1,894,000	269,000	1,900,340	262,660	スポーツ技術の向上や、区民の健康増進と区民交流を図ることができたが、今後もより多くの区民が参加できるように他のスポーツ種目について、区民要望も含め事業開催できるか、また、事業のPR方法についても実行委員会で検討していく。	見直し・改善の上継続	現在、事業目的は例年ほぼ達成されているが、更に区民のこの事業に対する認識を高めるため、幅広い世代・地域の区民の参加が出来るよう、スポーツ種目の検討を行うほか、市政だより等を利用して各事業のPRを行い、活力あるふれあいの場づくりや、区民の健康増進にさらに寄与できるよう事業を継続する。	B	地域振興課
22	みやまえふれあいフェスタ	「健康と福祉」をテーマに、区民が主体的に参加することで区民相互の連帯やコミュニティ活性化を図ることを目的に、区内の福祉団体や市民活動グループの発表・交流を内容とするイベントを開催する。「健康まつり」が廃止となり、イベントの目的、運営体制等の整理が必要であるが、それぞれ区民参加で発展してきた経緯などから、平成19年度は従来の体制を維持しつつ、新たな体制作りにも検討を同時に進めていく。開催日:平成19年5月20日(日)10時~15時 宮前区役所・宮前市民館・市民広場 来場者数:12,000人	平成7年度	1,540,000	0	1,531,011	8,989	多くの実行委員(区民)が主体的に参加し、イベントの企画・運営を行なっている。一方で、健康まつりが廃止されたこともあり、テーマに関する一貫性・専門性が低く、内容が散漫になる傾向があり、テーマの検討、実行委員の意識の共有化が課題である。	見直し・改善の上継続	健康まつりの参加団体を一部取り込む形での開催となったが、今後健康と福祉というテーマでの開催は困難である。区民間、市民活動団体間の交流の場としても意義のある事業であるため、今後は「ふれあい」や「コミュニティ」をテーマに開催していく。	B	地域振興課
23	障害者交流推進事業(しあわせを呼ぶコンサート)	音楽を通じて、障害者と健常者の相互理解と交流を深めながら、障害者の社会参加と自立支援を促進するため、障害者福祉施設・作業所に通う人々による合唱とゲストによるコンサートを開催する。今回から第一部の「第九」にソリストを加え、第二部では来場者も一緒に歌える場面を設けた。開催日:9月7日(金)宮前市民館大ホールにて開催 入場者数:約700人。	平成12年度	2,739,000	0	2,289,000	450,000	来場者のアンケートでも障害者の一生懸命な姿に感動したとの声が多数あり、障害者と健常者が共にステージを作り上げていくことで、音楽を通じた障害者と健常者の相互理解を深める場として定着している。	見直し・改善の上継続	広く周知されるようになり、区民の間でも関心が高くなってきている。今後は障害者福祉施設・作業所連絡会との連携と協力を進め、相互理解の場としてより発展させる企画を検討していく必要がある。	A	地域振興課
24	みやまえ新春コンサート	実行委員会による運営の下、区内を中心に音楽活動をしている個人や団体の参加により、相互の交流と協力でコンサートを開催し、音楽を身近に感じてもらい芸術への意識の向上を図る。クラシックを主体とし、オーケストラとの共演、アンサンブルでの演奏などコラボレーションによる構成を特徴としている。開催日:平成20年1月13日、場所:宮前市民館ホール、来場者数:約850人	平成18年度	754,000	0	752,474	1,526	区民による手作りのコンサートとして、実行委員会が主体となって運営していく姿勢を保ちながら、スタッフのスキル、コンサートの質も上がってきており、来場者の期待に応えたコンサートを開催することができた。	見直し・改善の上継続	区民同士の交流の場とすることもできた。入場希望の応募が昨年以上にあり、抽選で入場者を決定。当日はほぼ満席となった。今後もより質の高いコンサートを目指し、将来的には有料化などの検討をしていく。	B	地域振興課
25	宮前区制25周年記念「橘樹から高津そして宮前へ」小池汪写真展	区制25周年にあたり、平成18年度川崎市文化賞を受賞した小池汪氏の写真展を開催し、宮前区の歴史と現在を広く区民に紹介することにより、地域の理解を深める一助とした。4月27日~5月2日に宮前市民館内市民ギャラリーで写真展を開催し、54点の作品を展示した。その間、作者による展示解説のほか、展示に関連する専門家等によるギャラリートークを開催した。	平成19年度	634,000	0	497,311	136,689	宮前区制25周年を迎え、地域の変遷を写真や映像など多角的に捕らえることができ、区民の地域への理解が深まったことは評価に値する。	終了する			生涯学習支援課

4 区民への情報発信と情報の共有化をめざして

26	宮前区ホームページリニューアル事業	区ホームページは、機能的に古く、地域ポータルサイトの開設に伴い、データ連携が必要であるが、現在のHTMLでのみ作成されたページではできず、また、各課のページについては、担当者に一定のスキルが求められ職員の負担となっているなどの課題があったため、機能面や操作性の向上を図り、区民への速やかな情報発信に繋げる。	平成18年度	3,465,000	0	3,461,745	3,255	今回のリニューアルで従来に比べ、より情報を迅速に発信することができた。ITの活用は、区の広報広聴機能拡充のうえでも非常に重要であり、ホームページについては、今後も継続して充実していく必要がある。	終了する			企画課
27	宮前区役所事業概要発行事業	区役所の事業は予算及び事業内容の全体像が区民にとっても、また職員にとってもわかりづらいため、各課の事業概要、予算などを一冊の冊子としてまとめ、区の施策をわかりやすく区民に周知する。発行部数:5000部(区民課窓口で転入者及び庁内等で区民への配布)	平成19年度	835,000	0	561,750	273,250	7区の中で初めての取組であり、区民に広く区役所の概要を知らせるといふ点で効果があった。	見直し・改善の上継続	20年度は、各課の事業内容をこれまで以上に詳しく載せた。今後は執行予算を載せる方向で検討を進めていく。	B	企画課

平成19年度 宮前区協働推進事業評価一覧表

NO	事業名	目的及び内容	開始年度	予算額(円)	追加予算額(円)	決算見込額(円)	不用額(円)	事業評価総合評価	次年度以降の事業計画	具体的な展開方針	優先度	担当課
28	みやまえガイドマップ修正増刷事業	区役所窓口等で配布するガイドマップの修正及び増刷。部数 10,000部(追加増刷 5,000部) 配布時期 6月(追加増刷 3月) 地図情報、施設情報等のデータ修正	平成19年度	1,113,000	630,000	1,585,500	157,500	転入者数以外の配布など、効果的に活用することができたが、それらも視野に入れて、印刷部数の精査を慎重に行うべきである。	見直し・改善の上継続	在庫を把握しながら原則年1回の修正増刷を行う。また5年に1回の大幅リニューアルを検討する。次回増刷時からは、広告掲載を予定。	B	地域振興課
29	町内会ホームページ開設推進事業	宮前区各町内会・自治会等のホームページ開設の推進を図ることを目的とし、講習会等を開催することによって、基礎的なページ作成業務の理解を高め、自主的な更新作業ができるよう管理方法を公開までサポートする。	平成18年度	215,000	0	64,400	150,600	生活情報の発信源としてホームページを開設する必要性・重要性については、一定の理解を得ることができた。平成20年度からは、区町連事業として地域団体の費用負担へと移行するが、引き続き、整備・維持・管理に向けた取り組みを継続する。	終了する	今後は、宮前区全町内・自治会連合会においてページ拡充及び維持・管理の効率化を見据えた事業展開を目指す。		地域振興課
30	保健福祉等情報提供事業	保健福祉センターが行っている保健・福祉サービスの情報や、地域福祉計画に関する情報等を提供することにより、区における保健・福祉活動の向上推進を図る。平成20年3月発行。第2期計画の概要や第1期計画の成果、保健福祉センター各事業や地域生活支援センターの設立などについて掲載した。発行部数：20000部(区役所等の窓口・各種イベントにて配布)	平成16年度	630,000	0	375,900	254,100	地域の方々や団体のこれまでの活躍について写真などをまじえて紹介することができ、多様な主体による地域福祉活動を広報できた。また、地域保健・地域福祉の更なる推進のために、地域福祉計画第2期計画の広報に努めた。	終了する			地域保健福祉課
31	みやまえデータブック作成事業	新実行計画内の区計画を補足するとともに、様々な事業を実施していく際に、最新の区内の状況等を把握する必要があるため、平成16年度に作成たみやまえデータブックを基本として、最新統計データ等を整理する。発行部数 1,000部(庁舎内等で配布)	平成19年度	0	1,554,000	1,096,200	457,800	地域の課題を把握する際や、事業計画を見直す際には客観的な状況把握が必要であるため、一定の時期ごとの更新を検討する必要がある。	終了する			企画課

5 便利で快適な区役所サービスの提供をめざして

32	宮前区役所BGM配信事業	庁舎内にBGMを流すことにより、区役所を、身近で明るく、親しまれる場に変えていく。	平成14年度	42,000	0	42,000	0	BGMを流すことで、庁舎内が明るく、かつ身近で親しみやすいものとなった。また、区民と職員双方の心にゆとりを生み出すことができ、スムーズな対応等窓口サービスの向上につながり、事業目的の効果は得られている。	見直し・改善の上継続	配信内容の見直しを図りながら、事業の継続を行う。	B	総務課	
33	バリアフリー推進事業	区役所南側の歩行者通路は、降雨時や降雪時に大変滑りやすく危険であり、過去にも来庁者が転倒し怪我をしたことがある。歩道のノンスリップタイルへの張替及びマンホールの段差解消により、区民が安全に安心して利用できる庁舎の整備を行う。	平成15年度	5,842,000	0	5,837,183	4,817	来庁者が安全に庁舎を利用できるために、今後もバリアフリー化を順次行っていく必要がある。	終了を見越して継続する	市民広場周辺など改善が必要な部分は残っているが、今後は、耐震補強などの推進を見ながら整備を行っていく。	B	総務課	
34	窓口サービス等向上推進事業	繁忙期に区民課業務に詳しい人を臨時職員として採用し、各窓口の案内や届出書、交付申請書の記載方の説明を行い、来庁者に正確な記載と受付場所等の案内をすることにより、スピーディーな業務処理、待ち時間の短縮を図る。(期間：4月～5月・2月～3月 延べ人数：4人) (業務：窓口案内・申請書等の記載方法説明等)	平成17年度	461,000	0	378,400	82,600	事前に業務内容や手順についてより具体的なレクチャーを行う等、ソフト・ハード両面において改善を図ることで、新規業務が加わった中、さらなる窓口サービスの向上に対応することができた。	終了を見越して継続する	効果的な事業として、今後も窓口案内人の配置は継続していく必要があると考える。ただし、平成21年度以降の事業実施については、協働推進事業以外での実施を検討していく。	B	区民課	
35	窓口サービス等向上推進事業(ローカウンター)	便利で快適な質の高い窓口サービスの提供を目的として、衛生課窓口の一部分をローカウンターに変更する。また、保健福祉サービス課において、ローカウンターを二つに分けてこども総合支援担当と共に使用し、効率的な窓口サービスを提供する。	平成19年度	0	488,000	487,200	800	スクリーンの設置を含めて機能的な設備を施したことにより窓口周辺の環境が改善され、イメージアップにつながった。また、執務環境の改善により効率的な職務遂行につながった。	終了する			衛生課	
36	区民に使いやすい庁内改善事業	集会機能のみの設備だけではなく、作業機能としての設備を追加することでさらに利便性を向上させる。集会機能の一部(板の間)を作業機能に変更し、間仕切り壁の増設から独立したスペースとすることで支援コーナーとしては総合的に有効活用ができるようにし、地域のニーズに合った施設の活用につなげる。	平成19年度	669,000	0	668,587	413	ハード面は概ね整備が完了したが、引き続き、利用状況に応じた環境整備を進めていく。	終了する				向丘出張所

6 緊急対応費

緊急対応費	地域課題等の速やかな解決を目的とする。		4,797,000	-5,957,000		-1,160,000						
-------	---------------------	--	-----------	------------	--	------------	--	--	--	--	--	--

7 その他

37	管理運営経費	協働推進事業における事務経費		1,484,000		1,351,687	132,313	適正な維持・管理ができている				
----	--------	----------------	--	-----------	--	-----------	---------	----------------	--	--	--	--

合計			55,000,000	0	51,420,193	3,579,807						
----	--	--	------------	---	------------	-----------	--	--	--	--	--	--

平成19年度 宮前区協働推進事業 事業評価書

番号	事業名	担当課(連絡先)
1	まちづくり推進事業	地域振興課 (044-856-3125)

1 事業概要

対象者	区内で活動が続ける市民グループ及び一般市民	事業実施主体	宮前区まちづくり協議会
目的及び内容	区民と行政との協働による魅力あるまちづくり推進のため、区民、地域団体、企業の代表、行政を構成員とした、まちづくり協議会を設置し「宮前区区づくりプラン」の推進及び実現を目指す。平成19年度の理事会開催数は12回で、参加人数は毎回15人(定数23人)程度。市民活動への支援事業、市民団体のネットワーク化などの中間支援機能について議論された。また、まちづくり協議会の業務支援のため、コンサルタントと委託契約を行った。		
事業形態	直営 一部委託 全部委託 その他(宮前区まちづくり協議会(事務局:地域振興課)に委託。)	当初予定事業	緊急対応事業
新規・継続	継続	開始時期	平成9年度
		関連する事業局・事業内容	
予算額	7,592,000(円)	決算額	6,509,774(円)
		不用額	1,082,226(円)
不用の理由	コンサルタントとの契約内容の見直し(支援会議の削減)をして経費の軽減を図った。		

2 事業評価(評価できる項目のみコメントを記入する。)

項目	コメント
必要性	宮前区区づくりプランの推進を図り、また市民活動を支援する中間支援機能を持つ組織としての役割を担っていくためには必要である。
緊急性・重要性	区民と行政との協働による魅力あるまちづくりを推進するためには、市民や活動団体を“つなく、むすぶ、ひろげる。”といった活動が重要である。
効率性	委員がそれぞれ個別の活動を行いながら協議会に参加している実態があり、会議運営、イベントの実施にあたり、特定の委員へしわ寄せがいき、効率が悪くなっている。また各種団体、企業からの推薦委員の参加は昨年までと比較すると増えた。今後もより多くの委員の参加を促す必要がある。
成果・達成度	中間支援機能を担うまちづくり協議会では、市民活動団体のネットワーク化の基礎を固め、来年度には団体情報を公開する足がかりが出来た。また、資金支援については14の市民活動団体に支援し、市民活動の活性化に寄与した。
総合評価	中間支援機能を担う組織として“つなく、むすぶ、ひろげる。”といった活動に取り組むことが出来た。今後も目的に沿った活動を推進していく。

3 事業の方向性

次年度以降の事業計画	現在までの成果・具体的な展開方針	優先度
見直し・改善の上継続 終了を見越して継続する 現状どおり 終了する	平成19年度は中間支援機能を担う活動の最初の一步を踏み出した。今後は資金支援の継続、ネットワーク化の促進を図り、市民団体への情報提供を強化するなど“つなく、むすぶ、ひろげる。”といった取り組みを推進していく。	A

優先度が:A非常に高い、B高い、C高いとはいえない

平成19年度 宮前区協働推進事業 事業評価書

番号	事業名	所管課(連絡先)
2	東名川崎IC周辺整備推進に関する事業	地域振興課 (044-856-3125)

1 事業概要

対象者	区内で活動が続けている市民グループ及び一般市民	事業実施主体	東名川崎インターチェンジ周辺整備推進協議会
目的及び内容	川崎市北部の玄関口としての東名川崎インターチェンジ周辺の景観を整備することにより、川崎のイメージアップを図る。また、町内会の役員や地域住民と協議会委員で構成された景観部会により、魅力的なまちなみの形成に向けて、地域性を活かした愛着ある空間を目指し、まちなみを形成していく初めの一步となるような「デザイン提案集」を作成する。また、当初予定していた橋脚へのラッピングアートは、中日本高速道路株が橋脚への耐震補強工事を実施したため、景観整備として花壇整備へ変更して実施した。 協議会2回 花壇づくり2回 景観部会6回 緑部会2回		
事業形態	直営 一部委託 全部委託 その他()	当初予定事業	緊急対応事業
新規・継続	継続	開始時期	平成16年度
		関連する事業局・事業内容	まちづくり局、環境局、建設局
予算額	3,316,000(円)	決算額	3,285,768(円)
		不用額	30,232(円)
不用の理由			

2 事業評価(評価できる項目のみコメントを記入する。)

項目	コメント
必要性	インターチェンジ周辺の景観を整備することにより、川崎のイメージアップを図る。また、まちづくりの指針となる「デザイン提案集」を作成し、地域性を活かした愛着ある空間づくりに役立てる
緊急性・重要性	川崎の北の玄関口としてイメージアップを図ることは重要である。また、数年後に完成予定の藤子・F・不二雄ミュージアムの整備に向けたサインの検討を行う必要がある。
効率性	景観部会には、町内会の役員や多くの地域住民が参加していただきより地域の声が反映されるようになった。また、地域住民がみずから花壇の整備を行う組織を立ち上げるなど地域の力が増大していった。
成果・達成度	「デザイン提案集」を作成した。また年2回の花壇づくりとモニュメント周辺の整備を行った。
総合評価	町内会の役員や多くの地域住民が参加して、今後のまちづくりの指針となる「デザイン提案集」を完成することができた。また、花壇の整備を地域住民で組織する団体を設立し地域で花壇の管理を行うしくみの土台づくりもできた。また、景観整備としてインターチェンジ周辺の花壇整備を実施することで、周辺のイメージアップを図ることができた。

3 事業の方向性

次年度以降の事業計画	現在までの成果・具体的な展開方針	優先度
見直し・改善の上継続 終了を見越して継続する 現状どおり 終了する	平成23年度に完成予定の藤子・F・不二雄ミュージアムの整備に合わせた東名川崎I.Cから生田緑地等までのサイン整備は区課題として今後検討していき、花壇などの整備は引き続き地域住民で組織する団体と協働で整備を行っていく。	B

優先度が:A非常に高い、B高い、C高いとはいえない

平成19年度 宮前区協働推進事業 事業評価書

番号	事業名	担当課(連絡先)
3	宮前区誕生25周年記念浄水場通り壁画作成事業	地域振興課 (044-856-3135)

1 事業概要

対象者	区民	事業実施主体	宮前区子ども会連合会
目的及び内容	平成6年、市制70周年記念事業として、浄水場通りの壁面に宮前区子ども会連合会の子ども達による壁画を作成したが、作成から13年が経過し、壁面の劣化・損傷が激しくなってきた。コーティング等を施して壁画壁面を補修・維持するには多大な経費がかかるため、平成19年度の宮前区誕生25周年を期に補修ではなく、新たに作成した。 平成19年8月実施		
事業形態	直営 一部委託 全部委託 その他()	当初予定事業	緊急対応事業
新規・継続	新規	開始時期	平成19年度
		関連する事業局・事業内容	なし
予算額	1,119,000(円)	決算額	1,119,000(円)
		不用額	0(円)
不用の理由			

2 事業評価(評価できる項目のみコメントを記入する。)

項目	コメント
必要性	殺風景だった浄水場通り壁面に子ども達の手によって最初の壁画が誕生してから13年間、明るいまちづくりを支えてきたことは地域活動としての貢献度は高く、街のシンボルとしても定着していたこともあり、事業実施の必要性は高い。
緊急性・重要性	子ども達自身が抱く夢や希望を壁面に描き、沿道をカラフルに彩ることによる防犯的な効果はもとより、子ども達が主体となって宮前区のまちづくりに参加することは、青少年の健全育成及び児童文化の向上と福祉の増進につながるものと考えられるため、極めて重要である。
効率性	作成前に実行委員会を立ち上げることで周辺住民及び町内・自治会等の意見や造形美術に精通した地元中学校長の助言に耳を傾け、景観の検討と調整を図った。また、壁画作成の実績ある宮前区子ども会連合会が実施主体となることによって、作業を効率的に行うことができた。
成果・達成度	壁面をリニューアルすることによって、延長120mの沿道は明るさを増し、作成に携わった子ども会21団体の子ども達にとっても良い思い出作りとなった。壁画完成後には、成果を記念誌に書き記すとともに、リニューアルに伴って消えてしまった以前の壁画作品に関しては、区役所2階市民ギャラリーにて写真展示を実施した。
総合評価	今回完成した壁画も時の経過とともに再び劣化の問題が生じることはあるが、今後においても子ども達が主体となり、大人達がサポートして宮前区のまちづくりを推進する土壌を作り上げることができた。

3 事業の方向性

次年度以降の事業計画	現在までの成果・具体的な展開方針	優先度
見直し・改善の上継続 終了を見越して継続する 現状どおり 終了する		

優先度が：A非常に高い、B高い、C高いとはいえない

平成19年度 宮前区協働推進事業 事業評価書

番号	事業名	担当課(連絡先)
4	カップパーク鷺沼地域交流・活性化促進事業	企画課 (044-856-3133)

1 事業概要

対象者	区民、及びその他区内外に関わらず広く一般	事業実施主体	企画課
目的及び内容	平成18年4月に新しくオープンした「カップパーク鷺沼」を、区のシンボルゾーンとして子どもから大人まで、様々な世代、立場の人が交流できるような場所に、また、この場所を核に地域コミュニティの振興やまちの活性化が図れるように、小学校、地元商店街、町内会等と協働してイベントを開催する。 開催日：平成19年8月4日(土) 場所：カップパーク鷺沼 来場者数：3,500人		
事業形態	直営 一部委託 全部委託 その他()	当初予定事業	緊急対応事業
新規・継続	継続	開始時期	平成18年度
		関連する事業局・事業内容	水道局
予算額	2,185,000(円)	決算額	2,084,155(円)
		不用額	100,845(円)
不用の理由			

2 事業評価(評価できる項目のみコメントを記入する。)

項目	コメント
必要性	魅力ある区づくりが求められている中で、カップパーク鷺沼を区のシンボルゾーンとして広く発信するとともに、ここを核として子どもから大人まで、様々な世代の交流を促進していく。
緊急性・重要性	宮前区の魅力の発信やイメージアップといった観点から、様々な世代の方へカップパーク鷺沼をPRしていくための機会として位置づけ事業を展開していく。
効率性	イベントテーマが水と癒しあり、水の週間でもあったことから、水道局からイベントへの恵水の提供やイベントへの参加・協力を得られ開催することができた。
成果・達成度	イベント開催前から小学校や地域の協力を得て、世代間交流が図れ、また、子供が地域の文化や大人に触れるなどの交流が促せた。また、カップパーク鷺沼内の各施設だけでなく、地域の方や地元商店会や自治会、老人会など様々な立場の方の協力が得られ、多くの来場者がイベントとすることができた。
総合評価	カップパーク鷺沼がオープンして3年目であることから引き続き区のシンボルゾーンとして周知していくとともに、小学校関係者や周辺地域の主体的な取組による事業展開となるよう段階的な取組が必要と考える。

3 事業の方向性

次年度以降の事業計画	現在までの成果・具体的な展開方針	優先度
見直し・改善の上継続 終了を見越して継続する 現状どおり 終了する	「カップパーク鷺沼」を区のシンボルゾーンとして定着させ、同地区を中心としたエリアで、世代や立場を超えた多様な交流を促し、地域の活性化やコミュニティ形成に寄与できる催しを実施する。 将来的には、地域主体で開催されるよう、地域の参加を積極的に促していく。	B

優先度が：A非常に高い、B高い、C高いとはいえない

平成19年度 宮前区協働推進事業 事業評価書

番号	事業名	担当課(連絡先)
5	地域課題の解決に向けた事業提案委託制度	企画課 (044-856-3133)

1 事業概要

対象者	区民一般及び市民活動団体	事業実施主体	企画課
目的及び内容	地域の課題を区民自らが発見し課題解決を図ることをめざし、広く事業提案を募集・選考し、選考された事業を市民活動団体に委託する。 平成19年度実施事業：映像コンクール、緑の回廊マップづくり、落書き消し		
事業形態	直営 一部委託 全部委託 その他(採択事業を委託)	当初予定事業	緊急対応事業
新規・継続	継続	開始時期	平成18年度 関連する事業局・事業内容 市民局(協働型事業のルール策定)
予算額	1,184,000(円)	決算額	1,079,714(円) 不用額 104,286(円)
不用の理由			

2 事業評価(評価できる項目のみコメントを記入する。)

項目	コメント
必要性	自治基本条例第4条で「市民は地域社会の課題を自ら解決していくことを基本」としているなかで、区民自らが課題を発見し解決していくプロセスは重要であり、区民にとって最も身近な行政機関である区役所としてそれを担保する何らかのしくみが必要である。
緊急性・重要性	本来、緊急性・重要性の高い公共性のある課題については、行政の責任において直接解決を図るべきものであるが、地域が主体となって取り組むことで、より地域の実情に沿った暮らしやすいまちづくりをめざす1つの手法であると考えます。
効率性	課題解決という観点からすると、課題と解決策の募集 選定 実施団体募集 選定というプロセスは、必ずしも効率が良いとはいえず、手法の見直しも必要であると考えます。
成果・達成度	19年度は、3団体が事業を実施してそれぞれ成果を残し、地域からも高い評価を受けた。区民自らが課題を発見し解決していくプロセスとしてのしくみは必要であるが、それが「委託」という手法に限定する必要もないと考えられることから、制度の見直しを行った。提案募集の段階では4団体からしか応募がなく、今後の課題となった。
総合評価	それぞれ事業の成果があったが、実施団体と区役所との役割分担が明確でない部分があるため、区役所への要望が多くなりがちであることから、当該制度を安定して継続させるためには、より一層各団体を自立させていくことが求められる。

3 事業の方向性

次年度以降の事業計画	現在までの成果・具体的な展開方針	優先度
見直し・改善の上継続 終了を見越して継続する 現状どおり 終了する	20年度は、事業協力+負担金という形で事業実施する。また、同一事業・団体について何年間継続を認めるかという課題があるため、その見直しを行っていく。	B

優先度が：A非常に高い、B高い、C高いとはいえない

平成19年度 宮前区協働推進事業 事業評価書

番号	事業名	担当課(連絡先)
6	区制25周年 みやまえ区民フォーラム	地域振興課 (044-856-3125)

1 事業概要

対象者	来場した区民および区外の市民	事業実施主体	宮前区まちづくり協議会
目的及び内容	地域活動団体とテーマ別に社会貢献活動をしている団体が協力し、それぞれの持つノウハウや課題を区民へ発信することで、区民が地域での活動を始めるきっかけ作りに活用してもらおうとともに、市民活動の活性化を図ることを目的としたイベントの開催。 開催日：平成20年3月1日・2日 場所：市立土橋小学校 来場者数：1,500人 第6回市民自治創造・かわさきフォーラム(以下「自治フォーラム」として開催)		
事業形態	直営 一部委託 全部委託 その他()	当初予定事業	緊急対応事業
新規・継続	継続	開始時期	平成18年度 関連する事業局・事業内容 総合企画局自治政策部・第6回市民自治創造かわさきフォーラム(合同で開催)
予算額	1,541,000(円)	決算額	1,528,570(円) 不用額 12,430(円)
不用の理由			

2 事業評価(評価できる項目のみコメントを記入する。)

項目	コメント
必要性	宮前区まちづくり協議会の協力により開催したが、同会の活動目的は本イベントの開催目的と合致する部分があるため、今後は同会とも協議して、合理化を図るべきである。
緊急性・重要性	全市的・普遍的なテーマについては自治フォーラムでも取り扱っていたこともあり、中学生や地域交通、防災など区特有の重要な課題を掘り下げる分科会などを展開することができた。
効率性	自治フォーラムを主催する同実行委員会との役割分担を決めて業務を遂行したが、会場に近い点などもあり、区側の負担が大きかった。
成果・達成度	自治フォーラムと合同で開催することにより、より多くの市民活動における課題を抽出し、来場者と共有することができた。また区内の市民活動団体と他区の団体との交流が実現し、活動の活性化に寄与することができた。また区内の取り組みをアピールできた。
総合評価	自治フォーラムと合同で開催したことにより大きな相乗効果があった点について評価できる。しかしながら、同じ目的を達成する手法として宮前区まちづくり協議会との協働があり、今後は同会との協議・調整により合理化を図るべきである。

3 事業の方向性

次年度以降の事業計画	現在までの成果・具体的な展開方針	優先度
見直し・改善の上継続 終了を見越して継続する 現状どおり 終了する	今後は、市民活動参加へのきっかけづくりや市民活動の活性化というイベントの開催目的を鑑みて、本イベントの実施主体でもあり市民活動への支援、市民団体のネットワーク化などの中間支援を目指す宮前区まちづくり協議会との協働によるまちづくり推進事業の一環として、実施形態を含めて協議、検討する。	

優先度が：A非常に高い、B高い、C高いとはいえない

平成19年度 宮前区協働推進事業 事業評価書

番号	事業名	担当課(連絡先)
7	鷺沼駅前ロータリーにおけるイベント等支援事業	地域振興課 (044-856-3125)

1 事業概要

対象者	鷺沼駅周辺利用者	事業実施主体	市民活動団体等		
目的及び内容	東急鷺沼駅前は鷺沼地区の中心として多くの区民が利用する場所であり、ロータリーについては東急電鉄から区が借り受けて区民との協働により植栽やイルミネーションを行っている。このロータリーで効果的にイベントを行う環境を整備することにより、区内外からの訪問者への宮前区の魅力発信となる。 内容としては、鷺沼駅前ロータリーの電源設備を最大30アンペアまで使用できるよう、ブレーカー等を交換する。その上で、駅前で市民団体が公益的な活動を行う場合や区のイベント等を行う場合に、東急電鉄との協議の上開催の支援を行う。				
事業形態	直営 一部委託 全部委託 その他()	当初予定事業 緊急対応事業			
新規・継続	新規	開始時期	関連する事業局・事業内容		
予算額	92,000(円)	決算額	91,770(円)	不用額	230(円)
不用の理由					

2 事業評価(評価できる項目のみコメントを記入する。)

項目	コメント
必要性	ロータリーの規模や送電設備の状況からみて最大電力まで使用できるよう機器を交換したので、ロータリーの有効活用のための環境を整備することができた。
緊急性・重要性	イルミネーションだけでなく、より効果的な活用を検討していくべきである。
効率性	当面は市民活動団体が主体となってクリスマスイルミネーションによる周辺の活性化を図っているが、区が土地管理者との調整および本市の電気設備の整備・管理を行い、市民活動団体がランニングコストを負担することで、両者の協働により効率的に事業効果が得られている。
成果・達成度	区が市民活動の環境を整備することで、効率的に駅前の更なるイメージアップを図ることができた。
総合評価	イルミネーションについては、区と市民活動団体との協働で効率的に事業を実施する環境を整えることができた。また、今回改修した電源設備については、多くの人々が利用する場所であることから、今後は区での各種啓発イベント等に利用していくべきである。

3 事業の方向性

次年度以降の事業計画	現在までの成果・具体的な展開方針	優先度
見直し・改善の上継続 終了を見越して継続する 現状どおり 終了する	予算措置のある事業としては終了であるが、イルミネーション事業は市民活動団体と協議しながら継続して開催していく。また電源設備については今後様々な事業等で積極的な活用を図る。	

優先度が：A非常に高い、B高い、C高いとはいえない

平成19年度 宮前区協働推進事業 事業評価書

番号	事業名	担当課(連絡先)
8	シニアパワー活用支援事業	企画課 (044-856-3133)

1 事業概要

対象者	団塊の世代及び団塊の世代を迎える地域活動の担い手である区民	事業実施主体	企画課		
目的及び内容	団塊の世代(昭和22年~24年生)の大量退職期を直前に控え、IT技能など多彩な能力を持つ一方で、地域との関わりが薄いといわれている団塊世代の活力を地域で活かし、また、そうした人たちを含めたシニア世代の今後の生きがい作りをサポートするために、シニア世代を対象とした相談員によるよる相談窓口の充実やシニア世代にメッセージを発信する講演会、シニア世代と地域を結ぶ架け橋となる地域活動のリーダーがコーディネートを学ぶ講座を開催する。 ・よるずシニア本舗相談窓口 開設回数：51回(臨時開設含む) 相談件数 56件 ・コーディネートを学ぶ講座(連続3回講座)参加者：13人(終了証交付者(全日参加者10人) ・大人の文化祭 in みやまえ(開催日：平成20年2月11日(祝)市民館 来場者数：約400人)				
事業形態	直営 一部委託 全部委託 その他()	当初予定事業 緊急対応事業			
新規・継続	継続	開始時期	平成18年度	関連する事業局・事業内容	
予算額	1,440,000(円)	決算額	1,323,296(円)	不用額	116,704(円)
不用の理由					

2 事業評価(評価できる項目のみコメントを記入する。)

項目	コメント
必要性	多彩な能力を持つシニア世代が地域活動等への参加を促し、そのきっかけを作ることで、団塊・シニア世代の自己実現を図る支援ができ、同時に地域の活性化を図ることができる。
緊急性・重要性	団塊の世代の退職時期を直前に控え、団塊・シニア代の能力活用は、地域社会全体として捉える必要がある課題であり、緊急性、必要性は高い。
効率性	相談窓口を毎週木曜午前中に区役所2階ロビーに設置すると共に、様々なイベントの際にも臨時窓口を開設し幅広く相談を受け付けた。チーフシニアアドバイザーを設置し、講演会、講座の効果的・効率的な開催について、助言を受けることができた。
成果・達成度	相談窓口を毎週木曜日午前中に区役所2階ロビーに設置し、幅広い相談を受け付けることができた。また、講演会では、シニア世代へのメッセージの発信を効果的に行なえる講師を選任し、パネルディスカッションと統一的な内容とすることができ、講座では、地域活動のリーダーがコーディネートについて総合的に学べる内容となった。
総合評価	シニア世代の自己実現を図りつつ、その能力が地域社会で発揮され、地域課題の解決に繋がっていくには、当面、改善を係りつつ、継続していくことが必要である。

3 事業の方向性

次年度以降の事業計画	現在までの成果・具体的な展開方針	優先度
見直し・改善の上継続 終了を見越して継続する 現状どおり 終了する	シニア世代の自己実現を支援しつつ、同時に地域社会の活性化・地域課題の解決を図っていくためには、各事業の実施に際して内容を検討しつつ、より効果的な情報発信等ができるよう工夫していく必要がある。	A

優先度が：A非常に高い、B高い、C高いとはいえない

番号	事業名	担当課(連絡先)
9	歯つらつお口のコミュニティケアプラン事業	地域保健福祉課 (044-856-3291)

1 事業概要

対象者	平成19年度宮前区就学児健康診断受診者等のすべての区民	事業実施主体	地域保健福祉課
目的及び内容	区民が、自分自身の口腔の健康を正確に認識し、口腔の健康の保持・増進に強い関心を持つことにより、う蝕・歯周病等の口腔疾患の予防・早期発見に資することを目的とする。 歯の健康手帳の作成 発行部数 5000冊(平成19年9月~平成20年3月) 発行場所 平成19年度就学時健康診断時 17校 2103名 宮前区役所保健福祉センターでの健康教育 124回 3618名 宮前区役所での講演会 1回 60名、宮前区歯科医師会での健康教育 219名		
事業形態	直営 一部委託 全部委託 その他()	当初予定事業	緊急対応事業
新規・継続	継続	開始時期	平成17年度 関連する事業局・事業内容 健康福祉局
予算額	2,050,000(円)	決算額	1,949,890(円) 不用額 100,110(円)
不用の理由			

2 事業評価(評価できる項目のみコメントを記入する。)

項目	コメント
必要性	区民が自己の口腔内状況を常に把握し、最新の歯科情報を入手し、生涯にわたる口腔の健康を維持・増進、そして口腔疾患の早期発見・早期治療を図るため、必要性が高かった。
緊急性・重要性	国民健康保険疾病統計では、宮前区民の口腔疾患件数・医療費とも多く、区民の口腔の健康を維持・増進するため緊急性があった。
効率性	就学時健康診断・講演会等、区民が多く集まるイベントで実施したため、口腔衛生の普及・啓発が効率的にできた。
成果・達成度	作成した「歯の健康手帳」5000冊すべてを区民に配布し、区民の口腔の健康に関する関心・情報が非常に高まった。
総合評価	「歯の健康手帳」活用により、自分自身の口腔の健康を正確に認識し、口腔の健康の保持・増進に強い関心を持つようになり、区民の口腔の健康に対する関心が非常に高まった。

3 事業の方向性

次年度以降の事業計画	現在までの成果・具体的な展開方針	優先度
見直し・改善の上継続 終了を見越して継続する 現状どおり 終了する		

優先度が：A非常に高い、B高い、C高いとはいえない

番号	事業名	担当課(連絡先)
10	子育て支援事業	保健福祉サービス課 (044-856-3258)

1 事業概要

対象者	区内乳幼児のいる世帯	事業実施主体	保健福祉サービス課
目的及び内容	広く区民に対し、子育て情報を提供する。 育て支援関係者の連携を強化し、安心して子育てできる地域づくりを進める。 子育て情報かわら版の発行、年2回、各20,000部(町内会・自治会への回覧等) 子育て支援関係者連絡会(年6回偶数月)の参加により、情報交換、区内の支援体制の協議を行う。		
事業形態	直営 一部委託 全部委託 その他()	当初予定事業	緊急対応事業
新規・継続	継続	開始時期	平成16年度 関連する事業局・事業内容
予算額	618,000(円)	決算額	590,440(円) 不用額 27,560(円)
不用の理由			

2 事業評価(評価できる項目のみコメントを記入する。)

項目	コメント
必要性	宮前区では、年少人口の割合が全市で最も高く、また転出入も多く、居住年数が短い世帯が多いなど、子育て中の保護者に子育てに関する情報の提供は必要である。
緊急性・重要性	
効率性	ウェルカムキャンペーンとして、乳幼児のいる世帯を中心に、積極的に窓口で情報提供を行った。また、あわせて町内会、自治会への広報も行った。
成果・達成度	転入世帯を中心に、より必要性の高い対象に情報を提供することができた。町内会自治会への広報により、子育て支援に対する関心、理解が深まった。
総合評価	かわら版発行による情報の提供により、子育て世帯に対して、安心して子育てができるようバックアップができた。また、子育て支援関係者連絡会への参加により、関係者、団体との連携が強化され相互理解が深まった。区民会議の報告に対する取り組みとして、子育て支援関係者との連携協働をさらに充実・強化するため、これまでの連絡会を見直し、運営方法、要綱を整備した。

3 事業の方向性

次年度以降の事業計画	現在までの成果・具体的な展開方針	優先度
見直し・改善の上継続 終了を見越して継続する 現状どおり 終了する	子育て情報かわら版の発行は、改正が見込まれる子育てガイド「とことこ」の補完とタイムリーな情報提供が目的のため、内容の検討が必要である。平成20年度は平成21年度に向けて内容を検討し、年2回発行する。	B

優先度が：A非常に高い、B高い、C高いとはいえない

平成19年度 宮前区協働推進事業 事業評価書

番号	事業名	担当課(連絡先)
11	親子の集いと居場所づくり推進事業	こども支援室 (044-856-3118)

1 事業概要

対象者	区内の子育て中の親	事業実施主体	こども支援室
目的及び内容	子育ての不安・孤立感等を軽減し、地域との交流を持てるよう、赤ちゃん広場(7か所)、子育てサロン、すくすく土橋、ひだまりニコニコなどの自由に参加できる広場・サロン等の充実を図る。子育て中の母親から、子育ての悩みや親子の集いと居場所についての状況、区の子育て支援事業に対する認知度・感想などを調査し、子育ての現状把握を行って今後の施策の課題を明らかにする。		
事業形態	直営 一部委託 全部委託 その他()	当初予定事業	緊急対応事業
新規・継続	新規	開始時期	平成19年度
		関連する事業局・事業内容	
予算額	1,640,000(円)	決算額	1,531,093(円)
		不用額	108,907(円)
不用の理由			

2 事業評価(評価できる項目のみコメントを記入する。)

項目	コメント
必要性	子育て支援の施策を展開していく上で、人と人がつながっていく広場やサロン等を充実させていくことは、とても大切である。
緊急性・重要性	宮前区は子どもの数が多く、転入者も多いため、子育て中の親子が孤立せず地域に馴染んでいくよう、居場所づくりの充実を図る必要がある。
効率性	「親子の集いと居場所づくり調査」の実施については、調査事務を子育て支援関係の法人に委託し、アンケート調査と現地調査を実施することができた。
成果・達成度	「親子の集いと居場所づくり調査報告書」と冊子「地域とつながる子育て支援」(300部)を作成し、関係機関・団体、地域で活動する自主グループなどに配布した。また、赤ちゃん広場などの充実を図るため、備品(安全柵、テーブル等)を購入し貸し出しを行った。
総合評価	「子育てまちづくり懇談会」の開催やアンケート調査の実施により、子育て支援を行っていくための現状把握と今後の課題等を明らかにすることができた。

3 事業の方向性

次年度以降の事業計画	現在までの成果・具体的な展開方針	優先度
見直し・改善の上継続 終了を見越して継続する 現状どおり 終了する		

優先度が：A非常に高い、B高い、C高いとはいえない

平成19年度 宮前区協働推進事業 事業評価書

番号	事業名	担当課(連絡先)
12	子ども支援ネットワーク事業	こども支援室 (044-856-3118)

1 事業概要

対象者	子どもに係る関係機関・団体等	事業実施主体	こども支援室
目的及び内容	宮前区こども総合支援関係者懇談会を開催し、子どもに係る関係機関・団体等とのネットワーク強化を図る。また、虐待など要支援児童等の早期発見・支援に向けた連携・ネットワークを強化するため、専門のスーパーバイザーのもとに、事例検討会や研修会(講演会)を実施する。		
事業形態	直営 一部委託 全部委託 その他()	当初予定事業	緊急対応事業
新規・継続	新規	開始時期	平成19年度
		関連する事業局・事業内容	
予算額	285,000(円)	決算額	229,068(円)
		不用額	55,932(円)
不用の理由	当初予定していた事例検討会が、日程調整等の理由により4回から3回の開催になり、講師謝礼の1回分(52,500円)が不用になったため		

2 事業評価(評価できる項目のみコメントを記入する。)

項目	コメント
必要性	こども相談窓口を設置し、子どもに係るニーズを受け止め、地域の子育て支援を推進していくためには、乳幼児から学齢児童・生徒をつなぐネットワークの強化が必要である。
緊急性・重要性	虐待を予防し、早期発見・早期支援する地域づくり等、ネットワークの強化は重要な課題である。
効率性	区内の関係機関や団体が顔を合わせての事例検討会は、それぞれの支援の現状や課題などの情報交換ができ、今後の支援に活かされるとともに、役割や機能の再確認ができる。
成果・達成度	宮前区こども総合支援関係者懇談会を2回開催し、宮前区要保護児童対策地域協議会実務者会議を3回開催した。地域の関係機関・団体等が顔を合わせて情報交換や事例検討等を行うことにより、区の総合的な子ども支援の拠点としての整備が進んだ。
総合評価	区内の子どもに係る関係機関・団体等のネットワークの強化が図れた。

3 事業の方向性

次年度以降の事業計画	現在までの成果・具体的な展開方針	優先度
見直し・改善の上継続 終了を見越して継続する 現状どおり 終了する	ネットワークの強化は今後も必要であるが、事例検討会については、回数や内容等を検討しながら展開していく。	A

優先度が：A非常に高い、B高い、C高いとはいえない

平成19年度 宮前区協働推進事業 事業評価書

番号	事業名	担当課(連絡先)
13	親と子の子育て応援セミナー事業	こども支援室 (044-856-3118)

1 事業概要

対象者	区内の在宅育児中の親子	事業実施主体	こども支援室
目的及び内容	宮前区内の在宅中の親子を対象として、「親の育児力」をつけるために、子育てに関する知識と技術を持つ公立保育園の人材を活用し、子育てに関する相談・親と子の学習の機会及び交流の場を提供する。 会場：地域子育て支援センターさぎぬま		
事業形態	直営 一部委託 全部委託 その他()	当初予定事業	緊急対応事業
新規・継続	新規	開始時期	平成19年度
		関連する事業局・事業内容	
予算額	338,000(円)	決算額	300,158(円)
		不用額	37,842(円)
不用の理由	セミナーの内容により、参加者の子どもの保育を必要としない日があり、保育謝礼に不用額が生じたため		

2 事業評価(評価できる項目のみコメントを記入する。)

項目	コメント
必要性	宮前区は子どもの数が多く、在宅にて子育てしている家庭も最も多いとされている。育児に不安や孤独感等を抱きながら子育てをしている親も増えており、育児を学びながら親同士が交流することは、とても必要である。
緊急性・重要性	転入者が多く、核家族化、地域での関係が希薄化する中、親の育児力低下による子育ての相談等も増えており、「親の育児力」をつけることが課題となっている。
効率性	地域の公立保育園、地域子育て支援センター等と連携を強化し、人材を活用する。
成果・達成度	育児講座、遊びの紹介、交流の場の提供など、年間を通して12回の講座を計画的に実施した。平均して30組の参加だった。
総合評価	地域の中で、親の育児力向上を図ることができ、子育ての仲間づくりへと発展した。

3 事業の方向性

次年度以降の事業計画	現在までの成果・具体的な展開方針	優先度
見直し・改善の上継続 終了を見越して継続する 現状どおり 終了する	会場、対象者、講座内容等について、見直しながら充実させていく。	B

優先度が：A非常に高い、B高い、C高いとはいえない

平成19年度 宮前区協働推進事業 事業評価書

番号	事業名	担当課(連絡先)
14	安全安心まちづくり(含 子ども安全安心協議会)	地域振興課/こども支援室 (044-856-3137)

1 事業概要

対象者	区民	事業実施主体	宮前区安全安心まちづくり推進協議会、こども安全安心協議会
目的及び内容	区民、地域団体、事業者、行政機関等の連携・協働により、防犯・防火・交通安全などの推進を図り、暮らしやすい地域生活環境づくりに取り組むため、「宮前区安全・安心まちづくり推進協議会」を軸として、各種事業・施策の展開を図る。また、こども安全安心協議会については、区内の学校、保護者をはじめ、地域住民、事業者、関係団体、警察、行政機関が連携・協働し、子どもを犯罪から守り、登下校時等における地域の安全確保を目的として活動を行った。		
事業形態	直営 一部委託 全部委託 その他()	当初予定事業	緊急対応事業
新規・継続	継続	開始時期	平成18年3月
		関連する事業局・事業内容	市民局地域生活課、教育委員会事務局
予算額	1,484,000(円)	決算額	1,328,079(円)
		不用額	155,921(円)
不用の理由	契約差金		

2 事業評価(評価できる項目のみコメントを記入する。)

項目	コメント
必要性	平成18年9月及び平成19年4月の通り魔事件等の発生や、近年増えている「オレオレ詐欺」などの犯罪は、防犯活動の重要性や、防犯啓蒙の大切さ、さらには住民一人一人の防犯意識の向上が必要であることを高く認識させるきっかけとなった。さらに子ども安全安心協議会では、区内17の小学校区単位で、身近な地域からこどもの安全という共通の目標で地域づくりを進めた。いずれにしても、本事業の求める安全・安心まちづくりの基礎となる防犯意識向上の必要性は高い。
緊急性・重要性	安全安心まちづくり活動の推進は、安全な地域社会の確立のためにも不可欠であり、また、以前より市民の意識・興味も高くその取組みは非常に重要である。こども安全安心協議会については、機動性を持たせるため、ブロック連絡会議を開催し情報交換等を行っている。
効率性	事業の実施に当たり、町内会・自治会等からの要望にはできる限り迅速に対応した。
成果・達成度	平成19年度は、壁画の作成や区境の防犯パトロールの実施のみならず、市民救命士の広報など、防災、交通安全等、各分野において、啓蒙活動及び広報等にも積極的に努め、防犯・防災・交通安全等の意識向上に努めた。また、子ども安全安心協議会では、ブロック連絡会議等の情報交換をもとに、「子ども安全・安心通信」を年2回発行し、区内の取り組みの共有化を図った。
総合評価	安全・安心まちづくりは、日々の取組みが非常に重要であり、宮前内では、これまでの町内会・自治会の取組みの成果もあり、最近は大きな街頭犯罪は目立っていない。

3 事業の方向性

次年度以降の事業計画	現在までの成果・具体的な展開方針	優先度
見直し・改善の上継続 終了を見越して継続する 現状どおり 終了する	平成18年9月の通り魔殺人事件は未解決であり、さらに「ひったくり」や「オレオレ詐欺」など、新たな犯罪も増えつつあり、引き続き啓蒙等犯罪防止の広報活動に努める。また、今後は防犯活動だけでなく、防災や交通安全活動も幅広く支援し、「安全安心」なまちづくりに努める。また、「子ども自ら、自分の身を守る」ことを目的とした取組みも行っていく。	A

優先度が：A非常に高い、B高い、C高いとはいえない

平成19年度 宮前区協働推進事業 事業評価書

番号	事業名	担当課(連絡先)
15	安全安心まちづくり壁画パネル展示事業	地域振興課 (044-856-3137)

1 事業概要

対象者	区民	事業実施主体	宮前区安全・安心まちづくり推進協議会
目的及び内容	平成19年8月に完成した「第二梶ヶ谷架道橋」「東名1トンネル」及び浄水場通りにそれぞれ作り上げられた壁画は、地域、学校、企業と行政の協働にて完成した。それは、犯罪を防ぎ「安全安心なまち」を作り上げるという願いへのシンボルであり、その成果を広く区民に広報し、更なる協働を推進すべく実施。		
事業形態	直営 一部委託 全部委託 その他()	当初予定事業	緊急対応事業
新規・継続	新規	開始時期	平成19年10月
		関連する事業局・事業内容	
予算額	347,000(円)	決算額	346,500(円)
		不用額	500(円)
不用の理由			

2 事業評価(評価できる項目のみコメントを記入する。)

項目	コメント
必要性	本壁画の製作過程は、一部新聞等では報道されて入るものの、詳細については知られていない部分も多いため、区民祭という広く区民が集まる場において幅広く広報することは、この壁画を制作した手法である「協働」推進という意味からも、重要である。
緊急性・重要性	地元の中学生が、「安全な安心なまちづくり」に実際に取り組んでいる様子を広く区民に知ってもらう事で、区民一人ひとりがまちづくりに取組む必要があるということを広報することは、大変重要な事である。
効率性	写真の構成や図面作成、並びに会場展示等は区役所で行うことにより、コストの縮減を図った。
成果・達成度	区民祭にて行った展示会は、多くの来場者があり、またケーブルテレビ等からも取材があり、多くの好評を得た。
総合評価	現在は区役所4階に展示しているが、野川地区から離れた区民も壁画を見ることができるといい好評も得ている。

3 事業の方向性

次年度以降の事業計画	現在までの成果・具体的な展開方針	優先度
見直し・改善の上継続 終了を見越して継続する 現状どおり 終了する		

優先度が：A非常に高い、B高い、C高いとはいえない

平成19年度 宮前区協働推進事業 事業評価書

番号	事業名	担当課(連絡先)
16	第26回宮前区民祭 区誕生25周年企画事業	総務課・地域振興課 (044-856-3135)

1 事業概要

対象者	区民	事業実施主体	総務課・地域振興課・宮前まちづくり協議会
目的及び内容	宮前区誕生25周年を記念し、区民祭の中で特別イベントを実施するもので、区民全体が一体となって25周年を祝い、地域に対する愛着を高めることが目的である。 ミニ体力自慢コーナーは、区民祭で従来から行っている、体力テストコーナーと川崎フロンターレ主催のキックターゲットコーナーと連携させ、区民の健康づくり意識を高め、みやまえフォトコンテスト作品展示会では宮前区まちづくり協議会と宮前区観光協会を連携させ、宮前区の隠れた名所を区民に紹介した。		
事業形態	直営 一部委託 全部委託 その他()	当初予定事業	緊急対応事業
新規・継続	新規	開始時期	平成19年度
		関連する事業局・事業内容	
予算額	605,000(円)	決算額	565,275(円)
		不用額	39,725(円)
不用の理由			

2 事業評価(評価できる項目のみコメントを記入する。)

項目	コメント
必要性	ふるさとみやまえの意識を醸成するには非常に効果的な事業であり、あわせて、テーマ性を持たせたことで、来場者の参加意識も高めることができた。
緊急性・重要性	区誕生25周年というタイミングであり、この機会以外で同様のイベントを実施しても、参加者の意識が低くなり、効果も期待できない可能性があるため、緊急性が高かったといえる。
効率性	魅力あるイベント実施のため最低限の用具が必要になるが、数社から見積もり合わせを行うなどして、経費節減につとめたほか、実施に伴う人的負担も、民間のボランティア参加の人の兼務を願うなどして、人件費負担を減らすよう努めた。
成果・達成度	22万人を集める宮前区民祭のイベントの中でも、多くの参加者を集め、区民に対し地域への愛着を高めることができた。来場者や、区民祭実行委員の評価も高く、今後の区民祭イベント運営にも参考になるデータを提供できた。
総合評価	恒例イベントとしての継続希望も多かったことから、事業自体は成功といえる。ただ、区民祭自体は区民が作り上げるものであり、今後は、今回のイベント実施データを参考に、区民自身が企画運営できる土壌を作り上げることが必要である。

3 事業の方向性

次年度以降の事業計画	現在までの成果・具体的な展開方針	優先度
見直し・改善の上継続 終了を見越して継続する 現状どおり 終了する		

優先度が：A非常に高い、B高い、C高いとはいえない

平成19年度 宮前区協働推進事業 事業評価書

番号	事業名	担当課(連絡先)
17	区内公立保育園の保育相談の看板設置	こども支援室 (044-856-3118)

1 事業概要

対象者	区内の子育て中の親	事業実施主体	こども支援室
目的及び内容	公立保育園における地域からの保育相談を充実するため、各保育園(11園)で個々に設置している老朽化した看板を、保育士がデザインした看板に新しく設置し直し、保育園の存在と保育相談について区民に広くPRする。		
事業形態	直営 一部委託 全部委託 その他()	当初予定事業	緊急対応事業
新規・継続	新規	開始時期	平成19年度
		関連する事業局・事業内容	
予算額	58,000(円)	決算額	46,200(円)
		不用額	11,800(円)
不用の理由	契約差金		

2 事業評価(評価できる項目のみコメントを記入する。)

項目	コメント
必要性	年間で保育相談は200件位あるが、近隣の保育園で気軽に相談できることは、子育て中の母親にとって地域とのつながりになり、育児不安の軽減につながる。
緊急性・重要性	区民会議の提案(子育て支援3)の中で育児相談についてあげられていたが、既存の看板は20年以上も前に作られた物で、地域の人達に周知するにはあまりに老朽化していた。
効率性	保育士がデザインし、とても親しみやすい看板に仕上がった
成果・達成度	子育て中の母親等が、近隣の保育園で保育士・看護師・栄養士などに気軽に相談しやすくなった。
総合評価	明るい看板で、地域の人達に保育園の存在もPRできた。

3 事業の方向性

次年度以降の事業計画	現在までの成果・具体的な展開方針	優先度
見直し・改善の上継続 終了を見越して継続する 現状どおり 終了する		

優先度が：A非常に高い、B高い、C高いとはいえない

平成19年度 宮前区協働推進事業 事業評価書

番号	事業名	担当課(連絡先)
18	みやまえロビーコンサート	地域振興課 (044-856-3125)

1 事業概要

対象者	来庁する区民	事業実施主体	地域振興課
目的及び内容	来庁する区民にうるおいのある時間を過ごしてもらい、親しまれる区役所の実現をめざし毎月1回区役所2階ロビーでコンサートを開催する。来場者数は毎回200人前後、毎回レベルの高い奏者を迎え様々な音楽を提供している。		
事業形態	直営 一部委託 全部委託 その他()	当初予定事業	緊急対応事業
新規・継続	継続	開始時期	平成5年度
		関連する事業局・事業内容	
予算額	2,778,000(円)	決算額	2,772,000(円)
		不用額	6,000(円)
不用の理由			

2 事業評価(評価できる項目のみコメントを記入する。)

項目	コメント
必要性	毎回来場者も多く、コンサートを楽しみに来庁する方もおり、定期開催のコンサートとして定着している。
緊急性・重要性	多くの区民に親しまれており、定期開催のコンサートとして定着している。
効率性	庁舎内で開催することにより、低予算でレベルの高いアーティストによる良質のコンサートの開催が実現している。また市政日より、区ホームページ、庁舎内でのポスター掲示など効果的な広報を行っている。
成果・達成度	様々なジャンルの音楽によるコンサートを開催し、短い時間を有効に活用し区民にうるおいのあるひとときを提供できた。また区制25周年記念のコンサートも開催し、より質の高いコンサートも提供することができた。
総合評価	毎回多くの区民が来場し、定期開催のコンサートとして定着している。出演アーティスト、コンサートの内容共に質の高い、バラエティに富んだものとなり、区民に区役所をより身近に感じてもらい、うるおいのある時間を提供することができた。

3 事業の方向性

次年度以降の事業計画	現在までの成果・具体的な展開方針	優先度
見直し・改善の上継続 終了を見越して継続する 現状どおり 終了する	毎回バラエティに富んだ構成でコンサートを開催できた。11月には区制25周年記念として宮前市民館大会議室で開催し、より多くの区民に良質のコンサートを提供できた。来場者数が増えているため、コンサートの形態や安全面等を検討・改善していく必要がある。	B

優先度が：A非常に高い、B高い、C高いとはいえない

平成19年度 宮前区協働推進事業 事業評価書

番号	事業名	担当課(連絡先)
19	区制25周年 太鼓ミーティング	地域振興課 (044-856-3125)

1 事業概要

対象者	区民(来場者及び区内の太鼓団体)	事業実施主体	みやまえ太鼓ミーティング実行委員会
目的及び内容	太鼓を通して宮前区の文化伝統を再認識するとともに、演奏者・来場者相互の交流を深めるためのイベント。公募による区民で組織した実行委員会が企画・運営を行っている。19年度は区民によるより主体的な運営をめざし、出演団体も実行委員として参加し、共にイベントを創り上げた。また区制25周年記念の企画として、出演団体によるコラボレーションの演奏が実現した。 開催日:8月25日、場所:第1部・宮前市民館ホール、第2部・市民広場、来場者数:約2000人		
事業形態	直営 一部委託 全部委託 その他(実行委員会へ委託(事務局:地域振興課))	当初予定事業	緊急対応事業
新規・継続	継続	開始時期	平成11年度
		関連する事業局・事業内容	
予算額	1,622,000(円)	決算額	1,621,089(円)
		不用額	911(円)
不用の理由			

2 事業評価(評価できる項目のみコメントを記入する。)

項目	コメント
必要性	宮前区の夏のイベントとして定着してきており、来場者数も増えている。
緊急性・重要性	区内の伝統文化を保存・継承していくことに加え、区民相互の連帯感を深め、交流を推進していくために有効である。
効率性	公募による区民、出演団体、地域の活動団体で組織された実行委員会が3月から月1回会議を開催し、自主的な運営の下、問題点などを議論し企画運営を行っている。出演団体が実行委員会に参加することで、出演者の視点からも問題解決を図ることができた。
成果・達成度	太鼓体験や浴衣の着付けなど来場者参加型の企画で文化を身近に感じてもらうことができた。また実行委員会の自主運営で3回に亘る篠笛ワークショップを開催し、成果を当日出演団体のコラボレーションという形で発表し、伝統文化の保存・継承に寄与すると共に交流を深めることができた。
総合評価	プログラム編成、会場の雰囲気作り共に趣向を凝らしており、情緒ある夏のイベントとして幅広い世代の区民に親しまれている。出演団体が企画段階から参加したことで、太鼓の担い手、それを支える区民や地域、観客が、より区内の伝統文化を共有・共感できるイベントとなった。

3 事業の方向性

次年度以降の事業計画	現在までの成果・具体的な展開方針	優先度
見直し・改善の上継続 終了を見越して継続する 現状どおり 終了する	実行委員会の熟度が高く、出演団体も委員会に参加したことで、自主的に様々な企画・運営を行える環境が整いつつある。出演団体同士のネットワークを広げ、地域との繋がりを深め、それぞれの役割の下、より主体的な運営ができるように方法を検討していく。	B

優先度が:A非常に高い、B高い、C高いとはいえない

平成19年度 宮前区協働推進事業 事業評価書

番号	事業名	担当課(連絡先)
20	友好都市交流事業	地域振興課 (044-856-3125)

1 事業概要

対象者	市民間交流助成:区民、または区内で活動する団体で10名以上参加の団体。その他:区民対象	事業実施主体	宮前区友好都市交流委員会
目的及び内容	区政15周年を迎えた平成8年度から「個性豊かな新しい都市生活文化を創造する区」の実現をめざすため、長野県佐久市との交流を開始。 友好都市交流委員会:4回開催 市民間交流事業:2団体にバス借上げ料の一部を助成 その他:佐久市に関する広報・PR(区民祭、ふれあいフェスタでの物産展への招致など)		
事業形態	直営 一部委託 全部委託 その他(宮前区友好都市交流委員会(事務局:地域振興課)に委託)	当初予定事業	緊急対応事業
新規・継続	継続	開始時期	平成8年度
		関連する事業局・事業内容	
予算額	608,000(円)	決算額	237,666(円)
		不用額	370,334(円)
不用の理由	市民間交流支援の助成対象団体が2団体のみで、支出経費が少額であったため。		

2 事業評価(評価できる項目のみコメントを記入する。)

項目	コメント
必要性	佐久市の市町村合併により行政レベルでの交流継続が困難となっている。19年度に発足した宮前区観光協会を主体とした交流の検討が必要がある。また市民間交流支援は応募団体に広がりが見えないため、「里山復活、自然回帰」等にテーマを絞った支援事業への転換の検討が必要と思われる。
緊急性・重要性	他都市との交流をもつことにより、宮前区の特性を生かした様々なまちづくりの可能性が広がり、区のPR効果も期待できる。
効率性	委員会は様々な方面で活躍され、実績を持つ方で組織されており、具体的な提案や意見が多く出るため参考になる。
成果・達成度	市民間交流事業に参加する団体や、りんごオーナー制度への申込みなどがあり、交流について一定の成果があった。
総合評価	交流を開始してから、一定の成果を得られた。宮前区観光協会が発足したため、今後は交流の主体を観光協会に移し、より充実した交流を図っていく方法を検討していく必要がある。

3 事業の方向性

次年度以降の事業計画	現在までの成果・具体的な展開方針	優先度
見直し・改善の上継続 終了を見越して継続する 現状どおり 終了する	各事業を通して、市民が佐久の文化に触れるきっかけを提供することができ、委員会としての一定の役割を果たすことができた。今後は観光協会を主体に交流を行い、委員会としての活動は20年度で終了する。交流支援については事業を別立てすることも含め検討していく。	B

優先度が:A非常に高い、B高い、C高いとはいえない

番号	事業名	担当課（連絡先）
21	みやまえスポーツふえすていばる	地域振興課 (044-856-3135)

1 事業概要

対象者	宮前区内でスポーツ活動をする区民・諸団体	事業実施主体	みやまえスポーツふえすていばる実行委員会		
目的及び内容	従来から宮前区内で行われてきた複数のスポーツ大会を、スポーツ技術の向上、健康増進という共通の事業目的のもと関連した事業としてひとくりにするとともに、新規の大会についても企画し実施することで、区民に対してスポーツ参加意識の向上を図っている。内容としては女子バレーボール、ソフトボール大会、フットサル大会については、一定のチーム力を持ったグループが争う大会となり、新規参加を促すより、限られた参加チームによる大会内容のレベルアップが目的となっている。歩こう会やディスカバーウォークについては、区民同士のふれあいや、高齢者や若年層の健康増進を図ることが最大の目的であり、広報を通じ、広く参加者を募っている。				
事業形態	直営 一部委託 全部委託 その他（実行委員会：事務局地域振興課）	当初予定事業	緊急対応事業		
新規・継続	継続	開始時期	平成5年度 関連する事業局・事業内容		
予算額	2,163,000(円)	決算額	1,900,340(円)	不用額	262,660(円)
不用の理由	フットサル大会が雨天中止となったため。				

2 事業評価（評価できる項目のみコメントを記入する。）

項目	コメント
必要性	近年は健康づくりに対して区民の関心が高く、当該事業はその目的達成の場として貴重なものと意識されている。また、大会の回数を重ねることで、格式が高まり、参加者のモチベーションが高まることは、スポーツ技術力の向上にもつながっている。
緊急性・重要性	スポーツは学校教育と同様、継続して啓発することが重要である。幸いにも区民の健康意識の高まりとともに、例年行なっている事業の参加者も増えおり、ニュースポーツなど新規事業に対する関心の高さもある。結果として10を超える大会は、区民にとって健康づくりの貴重な機会となっている。
効率性	当該事業の実施については、スポーツ知識・経験ともに豊富な地域の体育指導員と、スポーツを通じて青少年の健全育成事業の一環としてウォーキングを行う青少年指導員と行政の協働により行われているため、人件費の支出はなく、用具代などの必要最低限の支出で効率的な予算執行と運営ができています。
成果・達成度	スポーツ技術の向上を目的とした大会は、長年参加し続けるチームが多く、スキルがアップし大会内容自体が例年向上してきている。また広く参加を募る健康増進を目的とした大会は、区民同士のふれあいの場ができ、区民交流を図ることができている。
総合評価	スポーツ技術の向上や、区民の健康増進と区民交流を図ることができたが、今後もより多くの区民が参加できるような他のスポーツ種目について、区民要望も含め事業開催できるか、また、事業のPR方法についても実行委員会で検討していく。

3 事業の方向性

次年度以降の事業計画	現在までの成果・具体的な展開方針	優先度
見直し・改善の上継続 終了を見越して継続する 現状どおり 終了する	現在、事業目的は例年ほぼ達成されているが、更に区民のこの事業に対する認識を高めるため、幅広い世代・地域の区民の参加が出来るよう、スポーツ種目の検討を行うほか、市政だより等を利用して各事業のPRを行い、活力あるふれあいの場づくりや、区民の健康増進にさらに寄与できるよう事業を継続する。	B

優先度が：A非常に高い、B高い、C高いとはいえない

番号	事業名	担当課（連絡先）
22	みやまえふれあいフェスタ	地域振興課 (044-856-3125)

1 事業概要

対象者	来場者	事業実施主体	みやまえふれあいフェスタ実行委員会		
目的及び内容	「健康と福祉」をテーマとして、さまざまな立場の人がともに笑顔で暮らすことができる地域社会の創出を目指すとともに、区民が主体的に参加することで区民相互の連帯やコミュニティ活性化を図る。内容としては、区内の福祉団体や市民活動グループの発表・交流を内容とするイベントを開催する。ただし、これまで「健康まつり」(担当 保健福祉センター)と同時開催の形で行ってきたが、今回から廃止となり、イベントの目的、運営体制等の整理が必要である。しかしながら、それぞれ区民参加によりこれまで発展してきた経緯などから、平成19年度は従来の体制を維持しつつ、新たな体制作りにもむけた検討を同時に進めていく。 開催日：平成19年5月20日(日)10時～15時 宮前区役所・宮前市民館・市民広場にて 来場者数：12,000人				
事業形態	直営 一部委託 全部委託 その他（実行委員会へ委託）	当初予定事業	緊急対応事業		
新規・継続	継続	開始時期	平成7年度 関連する事業局・事業内容		
予算額	1,540,000(円)	決算額	1,531,011(円)	不用額	8,989(円)
不用の理由					

2 事業評価（評価できる項目のみコメントを記入する。）

項目	コメント
必要性	宮前区の春のイベントとして定着してきている。しかしながら、健康と福祉というテーマについては同時開催の健康まつりが今年度から廃止され、専門性を打ち出すのが困難になってきたこと、回を重ねて実行委員会の熟度も上がり、同テーマを超えた広がりをみせてきていることから、事業目的を再検討すべきである。
緊急性・重要性	多くの来場者が楽しみながらテーマについて考える場として、重要である。また区内の市民活動団体、福祉団体等が交流やアピールをする場としても意義がある。
効率性	区民で組織された実行委員会が前年度の12月から月1回程度の会議を開催し、問題点などを主体的かつ効率的に議論して企画・運営を行なっている。
成果・達成度	テーマに即した体験型の催しを数多く展開し、また迷路などの子ども向け企画を充実させたことや、実行委員の主体的な広報活動などにより、多くの来場者を得、テーマについて考える契機としてもらうことができた。
総合評価	多くの実行委員(区民)が主体的に参加し、イベントの企画・運営を行なっている。一方で、健康まつりが廃止されたこともあり、テーマに関する一貫性・専門性が低く、内容が散漫になる傾向があり、テーマの検討、実行委員の意識の共有化が課題である。

3 事業の方向性

次年度以降の事業計画	現在までの成果・具体的な展開方針	優先度
見直し・改善の上継続 終了を見越して継続する 現状どおり 終了する	健康まつりの参加団体を一部取り込む形での開催となったが、今後健康と福祉というテーマでの開催は困難である。区民間、市民活動団体間の交流の場としても意義のある事業であるため、今後は「ふれあい」や「コミュニティ」をテーマに開催していく。	B

優先度が：A非常に高い、B高い、C高いとはいえない

番号	事業名	担当課(連絡先)
23	障害者交流推進事業(しあわせを呼ぶコンサート)	地域振興課 (044-856-3134)

1 事業概要

対象者	区民、一般市民	事業実施主体	地域振興課		
目的及び内容	音楽を通じて、障害者と健常者の相互理解と交流を深めながら、障害者の社会参加と自立支援を促進するため、宮前区内の障害者福祉施設・作業所に通う人たちによる合唱とゲスト(バンドネオン 啼鵬)によるコンサートを開催した。今回から第一部の「第九」にソリストを加え、第二部では来場者も一緒に歌える場面を設けた。 開催日：9月7日(金)宮前市民館大ホールにて開催 入場者数：約700人。				
事業形態	直営 一部委託 全部委託 その他()	当初予定事業	緊急対応事業		
新規・継続	継続	開始時期	平成12年度 関連する事業局・事業内容		
予算額	2,739,000(円)	決算額	2,289,000(円)	不用額	450,000(円)
不用の理由	契約差金				

2 事業評価(評価できる項目のみコメントを記入する。)

項目	コメント
必要性	障害者の社会参加と自立支援を促進する事業としての意義があり、開催を楽しみにしているとの来場者の声も多く、宮前区の音楽事業として定着している。
緊急性・重要性	障害者の音楽への参加の場であり、日ごろの活動等を発表できる場として重要性がある。
効率性	障害者福祉施設・作業所連絡会との事前調整及び協力・連携により、当日準備等の業務量の軽減が図れ、効率的な事業実施ができた。
成果・達成度	来場者も共に歌える場を設けたことにより、前回以上に会場全体の一体感が図れ、障害者と健常者の相互交流を促進することができた。
総合評価	来場者のアンケートでも障害者の一生懸命な姿に感動したとの声が多数あり、障害者と健常者が共にステージを作り上げていくことで、音楽を通じた障害者と健常者の相互交流を深める場として定着している。

3 事業の方向性

次年度以降の事業計画	現在までの成果・具体的な展開方針	優先度
見直し・改善の上継続 終了を見越して継続する 現状どおり 終了する	広く周知されるようになり、区民の間でも関心が高くなってきている。 今後は障害者福祉施設・作業所連絡会との連携と協力を進め、相互理解の場としてより発展させる企画を検討していく必要がある。	A

優先度が：A非常に高い、B高い、C高いとはいえない

番号	事業名	担当課(連絡先)
24	みやまえ新春コンサート	地域振興課 (044-856-3125)

1 事業概要

対象者	区民 区内を中心に音楽活動をしている個人や団体	事業実施主体	みやまえ新春コンサート実行委員会		
目的及び内容	公募による区民で組織した実行委員会による運営の下、区内を中心に音楽活動をしている個人や団体の参加により、相互の交流と協力でコンサートを開催し、音楽を身近に感じてもらう芸術への意識の向上を図る。クラシックを主体とし、オーケストラとの共演、アンサンブルでの演奏などコラボレーションによる構成を特徴としている。 開催日：平成20年1月13日、場所：宮前市民館ホール、来場者数：約850人				
事業形態	直営 一部委託 全部委託 その他(実行委員会へ委託(事務局：地域振興課))	当初予定事業	緊急対応事業		
新規・継続	継続	開始時期	平成18年度 関連する事業局・事業内容		
予算額	754,000(円)	決算額	752,474(円)	不用額	1,526(円)
不用の理由					

2 事業評価(評価できる項目のみコメントを記入する。)

項目	コメント
必要性	区民が自主的にコンサートに参加し、運営、準備を通して交流を持ち、協力してコンサートを開催することで、音楽を身近に感じてもらう芸術への意識の向上を図ることができる。
緊急性・重要性	音楽を通して区民間に新たな交流や繋がりが生まれ、芸術への意識の向上が図れると同時に、地域活動の活性化に繋がる。
効率性	実行委員会、ボランティアスタッフが様々な工夫をしながら、低予算の中でも質の高いコンサートを創るため、参加者に直接事業の趣旨を伝えていくことから始めて、自主的に事業を運営した。
成果・達成度	実行委員同士が交流を図りながら、自主的かつ効率的に事業を運営することができた。また、区民と行政の役割も明確にした上での運営ができた。実行委員会には当コンサートがきっかけで活動を始めたボランティアグループの参加もあり、これまでの活動が良い形で生かされている。
総合評価	区民による手作りのコンサートとして、実行委員会が主体となって運営していく姿勢を保ちながら、スタッフのスキル、コンサートの質も上がってきており、来場者の期待に応えたコンサートを開催することができた。

3 事業の方向性

次年度以降の事業計画	現在までの成果・具体的な展開方針	優先度
見直し・改善の上継続 終了を見越して継続する 現状どおり 終了する	来場者の期待に応えたコンサートを開催することができ、区民同士の交流の場とすることもできた。入場希望の応募が昨年以上にあり、抽選で入場者を決定。当日はほぼ満席となった。今後もより質の高いコンサートを目指し、将来的には有料化などの検討をしていく。	B

優先度が：A非常に高い、B高い、C高いとはいえない

平成19年度 宮前区協働推進事業 事業評価書

番号	事業名	担当課(連絡先)
25	宮前区制25周年記念「橘樹から高津、そして宮前へ」小池汪写真展	生涯学習支援課 (044-888-3911)

1 事業概要

対象者	一般区民	事業実施主体	生涯学習支援課
目的及び内容	区制25周年にあたり、宮崎台に在住し、50年以上の長きにわたって川崎市の自然、歴史的遺産、市民の生活などの写真を撮り続け、平成18年度川崎市文化賞を受賞された小池汪さんの写真展を開催し、宮前区の歴史と現在を広く区民に紹介することにより、地域の理解を深める一助とした。 具体的には4月27日～5月2日に宮前市民館内市民ギャラリーで「橘樹から高津、そして宮前へ」というテーマで写真展を開催する。内容は「歴史と文化財」10点、「風景、変遷」10点、「水辺と丘陵の仕事」10点、「民俗芸能、暦」10点、「川崎地名百人一首」14点の計54点の展示をした。その間に、写真鑑賞の一助として、作者による展示解説のほか、展示に関連する専門家等によるギャラリートークを多彩に開催した。		
事業形態	直営 一部委託 全部委託 その他()	当初予定事業 緊急対応事業	
新規・継続	新規	開始時期	平成19年度
		関連する事業局・事業内容	
予算額	634,000(円)	決算額	497,311(円)
		不用額	136,689(円)
不用の理由	事業の広報方法等の工夫により経費を削減した。		

2 事業評価(評価できる項目のみコメントを記入する。)

項目	コメント
必要性	50年以上にわたる宮前の写真を広く区民に紹介することは、地域を知りたいという区民のニーズにこたえるものである。
緊急性・重要性	小池汪氏が18年度に川崎市文化賞を受賞されたこと、区政25周年といいい時期に実施できた。
効率性	チラシ・看板の製作等を委託によるものから自館による印製作にすることで予算の軽減を図った
成果・達成度	写真展の参加者が6日間で1094名、講演会が134名と多くの方の参加があり、一定の成果があった。
総合評価	宮前区制25周年を迎え、地域の変遷を写真や映像など多角的に捕らえることができ、区民の地域への理解が深まったことは評価に価する。

3 事業の方向性

次年度以降の事業計画	現在までの成果・具体的な展開方針	優先度
見直し・改善の上継続 終了を見越して継続する 現状どおり 終了する		

優先度が：A非常に高い、B高い、C高いとはいえない

平成19年度 宮前区協働推進事業 事業評価書

番号	事業名	担当課(連絡先)
26	宮前区ホームページリニューアル事業	企画課 (044-856-3133)

1 事業概要

対象者	区民等のホームページ利用者	事業実施主体	企画課
目的及び内容	区ホームページは平成15年度にリニューアルして以来3年以上が経過し機能的に古くなってきており、また地域ポータルサイトの開設に伴い、データ連携が必要であるが、現在のHTMLでのみ作成されたページではできず、各課のページについては、担当者に一定のスキルが求められ職員の負担となっているなどの課題があったため、機能面や操作性の向上を図る。そうした機能面や操作面での向上が区民への速やかな情報発信に繋がるものとする。		
事業形態	直営 一部委託 全部委託 その他()	当初予定事業 緊急対応事業	
新規・継続	継続	開始時期	平成18年度
		関連する事業局・事業内容	総務局 市民局 (電子申請システム、CMS)
予算額	3,465,000(円)	決算額	3,461,745(円)
		不用額	3,255(円)
不用の理由			

2 事業評価(評価できる項目のみコメントを記入する。)

項目	コメント
必要性	区ホームページは、区の事業内容などを区民に分かりやすく紹介するための重要なツールであり、区民にとって分かりやすく使いやすいものとする必要がある。また、職員の側にとっても現状は更新作業に大きな負荷がかかっており、その軽減を図る必要もあった。 その他、地域ポータルサイトとのデータ連携上も、リニューアルする必要がある。
緊急性・重要性	地域ポータルサイトとのデータ連携は喫緊の課題であったことや、区ホームページデザインも前回更新以降3年以上が経過したことなどから、早い段階での更新が必要であった。
効率性	現在本市のCMSは、その構築・運用を特定の民間事業者が行っており、本事業にかかるCMS改修業務も当該事業者と特命随契とせざるをえず、その観点からは効率性に課題があった。 なお、本事業により、更新作業が大幅に軽減され業務の効率化が図られた。
成果・達成度	18年度に行った新着情報・イベント情報の動的化のシステム構築とデザインのリニューアル作業を踏まえ、19年8月に実装した。
総合評価	今回のリニューアルで従来に比べ、より情報を迅速に発信することができた。ITの活用は、区の広報広聴機能拡充のうえでも非常に重要であり、ホームページについては、今後も継続して充実していく必要がある。

3 事業の方向性

次年度以降の事業計画	現在までの成果・具体的な展開方針	優先度
見直し・改善の上継続 終了を見越して継続する 現状どおり 終了する		

優先度が：A非常に高い、B高い、C高いとはいえない

平成19年度 宮前区協働推進事業 事業評価書

番号	事業名	担当課(連絡先)
27	宮前区役所事業概要発行事業	企画課 (044-856-3133)

1 事業概要

対象者	区民	事業実施主体	企画課
目的及び内容	区役所の事業は本庁組織から予算が各課に分配されており、予算及び事業内容の全体像が区民にとっても、また職員にとってもわかりづらい。そこで、各課の事業概要、予算などを一冊の冊子としてまとめ、区の施策をわかりやすく区民に周知する。 また、様々な研修等で区の事業を説明する機会が多く、当該冊子があれば有効活用できることから、冊子の作成は必要である。 発行部数：5000部(区民課窓口で転入者及び庁内等で区民への配布)		
事業形態	直営 一部委託 全部委託 その他()	当初予定事業 緊急対応事業	
新規・継続	新規	開始時期	平成19年度
予算額	835,000(円)	決算額	561,750(円)
不用の理由	契約差金		

2 事業評価(評価できる項目のみコメントを記入する。)

項目	コメント
必要性	区役所の事務事業の全体像を区民に分かりやすくすることは、参加と協働による市民自治のまちづくりに向けて必要不可欠である。
緊急性・重要性	
効率性	今後は他の区役所内の広報誌との調整を検討し、より効率的で効果的な区役所情報の発信をめざす。
成果・達成度	6月には冊子として公表でき、区役所に配布用に置いたところすぐに品薄になるなど、概ね好評であった。また様々な場面で区の概要を説明する際にも役立った。一方で、内容には不十分な点もあり、20年度以降の改善すべき点として認識している。
総合評価	7区の中で初めての取組であり、区民に広く区役所の概要を知らせるという点で効果があった。

3 事業の方向性

次年度以降の事業計画	現在までの成果・具体的な展開方針	優先度
見直し・改善の上継続 終了を見越して継続する 現状どおり 終了する	20年度は、各課の事業内容をこれまで以上に詳しく載せた。今後は執行予算を載せる方向で検討を進めていく。	B

優先度が：A非常に高い、B高い、C高いとはいえない

平成19年度 宮前区協働推進事業 事業評価書

番号	事業名	担当課(連絡先)
28	みやまえガイドマップ修正増刷	地域振興課 (044-856-3125)

1 事業概要

対象者	転入者等区民全般	事業実施主体	地域振興課
目的及び内容	区役所窓口等で配布するガイドマップの修正及び増刷。 部数 10,000部(追加増刷 5,000部) 配布時期 6月(追加増刷 3月) 地図情報、施設情報等のデータ修正		
事業形態	直営 一部委託 全部委託 その他()	当初予定事業 緊急対応事業	
新規・継続	新規	開始時期	関連する事業局・事業内容
予算額	1,743,000(円)	決算額	1,585,500(円)
不用の理由	不用額 157,500(円)		

2 事業評価(評価できる項目のみコメントを記入する。)

項目	コメント
必要性	区役所窓口で配布しているガイドマップは区民の情報源であり、ニーズが高い。
緊急性・重要性	在庫切れを生じさせないように印刷部数を検討したが、区民祭等で区のPR媒体としても広く活用したため、再度増刷することとなった。
効率性	掲載情報を更新する必要があることから、年1回の増刷をすることとしているが、印刷部数については精査する必要がある。また、広告掲載によるコストダウンについて検討する必要がある。
成果・達成度	転入者への配布以外にも様々な場面で活用されており、効果は高い。
総合評価	転入者数以外の配布など、効果的に活用することができたが、それらも視野に入れて、印刷部数の精査を慎重に行うべきである。

3 事業の方向性

次年度以降の事業計画	現在までの成果・具体的な展開方針	優先度
見直し・改善の上継続 終了を見越して継続する 現状どおり 終了する	在庫を把握しながら原則年1回の修正増刷を行う。また5年に1回の大幅リニューアルを検討する。次回増刷時からは、広告掲載を予定。	B

優先度が：A非常に高い、B高い、C高いとはいえない

平成19年度 宮前区協働推進事業 事業評価書

番号	事業名	担当課(連絡先)
29	町内会・自治会等ホームページ開設推進事業	地域振興課 (044-856-3135)

1 事業概要

対象者	区民	事業実施主体	宮前区全町内・自治会連合会 及び事務局		
目的及び内容	宮前区各町内会・自治会等のホームページ開設の推進を図ることを目的とし、講習会等を開催することによって、基礎的なページ作成業務の理解を高め、自主的な更新作業ができるよう管理方法等を公開までサポートする。 平成18年度は、区町連ホームページを立ち上げ、開設後は、宮前区全町内会・自治会ホームページに各町内会・自治会等のリンク集を作成し、各町内会・自治会等の情報ネットワークを構築し、区民相互が共有できる生活情報を発信する。				
事業形態	直営 一部委託 全部委託 その他()	当初予定事業 緊急対応事業			
新規・継続	新規	開始時期	平成18年度	関連する事業局・事業内容	
予算額	215,000(円)	決算額	64,400(円)	不用額	150,600(円)
不用の理由	講習会を実施した際の講師謝礼として報償費を予算措置したが、19年度においては、講習会を開催するまでには至らなかったことが主な理由。				

2 事業評価(評価できる項目のみコメントを記入する。)

項目	コメント
必要性	町内会・自治会が生活情報の発信源として、区民と広く情報を共有するために、ホームページを開設する必要がある。
緊急性・重要性	町内会・自治会相互の情報交換及び情報交流が推進され、地域住民活動の活性化が期待できるほか、情報発信・伝達の迅速化による区民と行政の相互効果は、区民ニーズに対応するうえで重要であると思われる。
効率性	リンク先の単位町会ホームページは、未整備であったため、各町会にページ原稿の提出を促し、70町会中、34町会の初期整備を行った。モデル町会として区内2町会は、既にホームページを開設しているため、合計36町会の開設を図ることができた。
成果・達成度	平成19年度においては、公開に向けて未整備であったリンク先単位町会ページの初期整備を実施したものの、情報更新等のページ管理を見据えた講習会の開催までには至らなかった。
総合評価	これまで、生活情報の発信源としてホームページを開設する必要性・重要性については、一定の理解を得ることができた。平成20年度からは、区町連事業として地域団体の費用負担へと移行するが、引き続き、整備・維持・管理に向けた取り組みを継続する。

3 事業の方向性

次年度以降の事業計画	現在までの成果・具体的な展開方針	優先度
見直し・改善の上継続 終了を見越して継続する 現状どおり 終了する	今後は、宮前区全町内・自治会連合会においてページ拡充及び維持・管理の効率化を見据えた事業展開を目指す。	

優先度が：A非常に高い、B高い、C高いとはいえない

平成19年度 宮前区協働推進事業 事業評価書

番号	事業名	担当課(連絡先)
30	保健福祉等情報提供事業	地域保健福祉課 (044-856-3252)

1 事業概要

対象者	来庁市民	事業実施主体	地域保健福祉課		
目的及び内容	保健福祉センターが行っている保健・福祉サービスの情報や、区地域福祉計画に関する情報等を提供することにより、宮前区における保健・福祉活動の向上推進を図る。 平成20年3月(平成20年度版)発行。センター職員でプロジェクトを組み、より利用しやすい冊子づくりを目指した。特に、保健・福祉への関心を高めるため、第2期計画の概要や第1期計画の成果などの記事を掲載した。また、保健福祉センター各事業や地域生活支援センターの設立などの紹介記事も掲載した。発行部数：20000部(区役所等の窓口・各種イベントにて配布)				
事業形態	直営 一部委託 全部委託 その他()	当初予定事業 緊急対応事業			
新規・継続	継続	開始時期	平成16年度	関連する事業局・事業内容	健康福祉局
予算額	630,000(円)	決算額	375,900(円)	不用額	254,100(円)
不用の理由	契約差金				

2 事業評価(評価できる項目のみコメントを記入する。)

項目	コメント
必要性	「地域福祉における公的責任や地域住民の役割についての広報」と「地域福祉活動への参加を身近なものにするため」の「きっかけづくりとしての広報」、そして、保健福祉センターの業務に関する広報を実施し、目的達成に貢献した。
緊急性・重要性	平成20年度から推進する区地域福祉計画第2期計画の理念を広報することを中心に、保健・福祉に関する情報提供を実施するため重要性があった。
効率性	保健福祉センター各課の職員でプロジェクトをたちあげ、記事内容を検討し区民の視点から効果的な編集となるように努めた。
成果・達成度	平成20年度版は、これまで取り組んできた地域福祉計画の実績紹介や第2期計画の推進についての概要をおおくの区民にお知らせする機会をつくることができた。
総合評価	地域の皆様や団体のこれまでの活躍について写真などをまじえて紹介することができ、多様な主体による地域福祉活動を広報できた。また、地域保健・地域福祉の更なる推進のために、地域福祉計画第2期計画の広報に努めた。

3 事業の方向性

次年度以降の事業計画	現在までの成果・具体的な展開方針	優先度
見直し・改善の上継続 終了を見越して継続する 現状どおり 終了する		

優先度が：A非常に高い、B高い、C高いとはいえない

平成19年度 宮前区協働推進事業 事業評価書

番号	事業名	担当課(連絡先)
31	みやまえデータブック作成事業	企画課 (044-856-3133)

1 事業概要

対象者	区民一般	事業実施主体	企画課
目的及び内容	新実行計画内の区計画を補足するとともに、様々な事業を実施していく際に、最新の区内の状況等を把握する必要があるため、平成16年度に作成たみやまえデータブックを基本として、最新統計データ等を整理する。 発行部数 1,000部(庁舎内等で配布)		
事業形態	直営 一部委託 全部委託 その他()	当初予定事業	緊急対応事業
新規・継続	新規	開始時期	関連する事業局・事業内容
予算額	1,554,000(円)	決算額	1,096,200(円) 不用額 457,800(円)
不用の理由	契約差金		

2 事業評価(評価できる項目のみコメントを記入する。)

項目	コメント
必要性	地域課題の発見と解決の取組や区内の各事業の実施をより効果的・効率的に行うために、区内(地域)の状況について客観的に情報を把握する必要がある。
緊急性・重要性	新実行計画内の区計画を補足することができるとともに、最新統計データに基づき事業を展開することができる。
効率性	統計データに基づいた事業を展開することで、事業目的や根拠を明確にすることができ、事業の公平性・透明性など高めることができる。
成果・達成度	関係部署等への配布のほか、区民が地域の状況を把握し、庁舎内での配布や区ホームページでの公開を行い、継続的に広く情報発信を行う。
総合評価	地域の課題を把握する際や、事業計画を見直す際には客観的な状況把握が必要であるため、一定の時期ごとの更新を検討する必要がある。

3 事業の方向性

次年度以降の事業計画	現在までの成果・具体的な展開方針	優先度
見直し・改善の上継続 終了を見越して継続する 現状どおり 終了する		

優先度が：A非常に高い、B高い、C高いとはいえない

平成19年度 宮前区協働推進事業 事業評価書

番号	事業名	担当課(連絡先)
32	宮前区役所BGM配信事業	総務課 (044-856-3123)

1 事業概要

対象者	来庁者	事業実施主体	総務課
目的及び内容	庁舎内にBGMを流すことにより、区役所を、身近で明るく、親しまれる場に変えていく。		
事業形態	直営 一部委託 全部委託 その他()	当初予定事業	緊急対応事業
新規・継続	継続	開始時期	平成14年度 関連する事業局・事業内容
予算額	42,000(円)	決算額	42,000(円) 不用額 0(円)
不用の理由			

2 事業評価(評価できる項目のみコメントを記入する。)

項目	コメント
必要性	区役所のイメージを明るく変え、身近で明るく親しまれる場に変えていくために必要である。
緊急性・重要性	
効率性	既存のスピーカー等の設備を活用している。
成果・達成度	来庁者に対して、各階待合スペース等にBGMの曲目等のお知らせ用張り紙を掲示し、広報を行った。
総合評価	BGMを流すことで、庁舎内が明るく、かつ身近で親しみやすいものとなった。また、区民と職員双方の心にゆとりを生み出すことができ、スムーズな対応等窓口サービスの向上につながり、事業目的の効果は得られている。

3 事業の方向性

次年度以降の事業計画	現在までの成果・具体的な展開方針	優先度
見直し・改善の上継続 終了を見越して継続する 現状どおり 終了する	配信内容の見直しを図りながら、事業の継続を行う。	B

優先度が：A非常に高い、B高い、C高いとはいえない

平成19年度 宮前区協働推進事業 事業評価書

番号	事業名	担当課(連絡先)
33	バリアフリー推進事業	総務課 (044-856-3123)

1 事業概要

対象者	来庁者	事業実施主体	総務課		
目的及び内容	区役所南側の歩行者通路は、降雨時や降雪時に大変滑りやすく危険であり、過去にも来庁者が転倒し怪我をしたことがある。歩道のノンスリップタイルへの張替及びマンホールの段差解消により、区民が安全に安心して利用できる庁舎の整備を行う。				
事業形態	直営 一部委託 全部委託 その他()	当初予定事業	緊急対応事業		
新規・継続	継続	開始時期	平成15年	関連する事業局・事業内容	
予算額	5,842,000(円)	決算額	5,837,183(円)	不用額	4,817(円)
不用の理由					

2 事業評価(評価できる項目のみコメントを記入する。)

項目	コメント
必要性	庁舎はもちろん、敷地内でも来庁者が安全に利用できることが基本であり、今後もバリアフリー化を推進していく必要がある。
緊急性・重要性	
効率性	来庁者の安全に直接関わることから、来庁者の通行頻度の高い場所から順次ノンスリップタイル等を敷設している。
成果・達成度	通路の段差解消及びノンスリップタイルへの張替により、区役所利用者の安全性が向上した。
総合評価	来庁者が安全に庁舎を利用できるために、今後もバリアフリー化を順次行っていく必要がある。

3 事業の方向性

次年度以降の事業計画	現在までの成果・具体的な展開方針	優先度
見直し・改善の上継続 終了を見越して継続する 現状どおり 終了する	市民広場周辺など改善が必要な部分は残っているが、今後は、耐震補強などの推進を見ながら整備を行っていく。	B

優先度が：A非常に高い、B高い、C高いとはいえない

平成19年度 宮前区協働推進事業 事業評価書

番号	事業名	担当課(連絡先)
34	窓口サービス等向上推進事業	区民課 (044-856-3141)

1 事業概要

対象者	窓口に来庁する市民	事業実施主体	区民課		
目的及び内容	繁忙期に区民課業務に詳しい人を臨時職員として採用し、各窓口の案内や届出書、交付申請書の記載方の説明を行い、来庁者に正確な記載と受付場所等の案内をすることにより、スピーディーな業務処理、待ち時間の短縮を図る。 (期間：4月～5月・2月～3月 延べ人数：4人) (業務：窓口案内・申請書等の記載方法説明等)				
事業形態	直営 一部委託 全部委託 その他()	当初予定事業	緊急対応事業		
新規・継続	継続	開始時期	平成17年度	関連する事業局・事業内容	
予算額	461,000(円)	決算額	378,400(円)	不用額	82,600(円)
不用の理由	通勤費・日数の調整による差額発生の為				

2 事業評価(評価できる項目のみコメントを記入する。)

項目	コメント
必要性	繁忙期において、業務の迅速化と来庁者の満足度の向上を同時に図る為には効果的な事業である。
緊急性・重要性	区役所に来庁する方の目的に素早く回答、対応することは、区役所の基本的かつ当然のサービスであると考え、案内人の果たす役割・設置の重要性は高いと考える。
効率性	待合スペースにおいて、窓口案内および記載方法の説明等を案内人が担当することにより、効率的に窓口対応をすることができた。
成果・達成度	今年度は、新たな業務として川崎市民カード発行業務が加わったが、来庁者がすぐに案内人を認識し、また質問等できるように、新たに案内人窓口を設置し対応するなど、昨年度までの設置による経験を踏まえた細かな改善を行うことで、窓口における来庁者に対するより一層の利用しやすい環境作りに寄与した。
総合評価	今年度は、窓口案内人の質の向上を図る為、事前に業務内容や手順についてより具体的なレクチャーを行う等、前出の窓口設置も含め、ソフト・ハード両面において改善を図ることで、新規業務が加わった中、さらなる窓口サービスの向上に対応することができた。

3 事業の方向性

次年度以降の事業計画	現在までの成果・具体的な展開方針	優先度
見直し・改善の上継続 終了を見越して継続する 現状どおり 終了する	効果的な事業として、今後も窓口案内人の配置は継続していく必要があると考える。ただし、平成21年度以降の事業実施については、協働推進事業以外での実施を検討していく。	B

優先度が：A非常に高い、B高い、C高いとはいえない

平成19年度 宮前区協働推進事業 事業評価書

番号	事業名	担当課(連絡先)
35	窓口サービス等向上推進事業(ローカウンター)	衛生課 (044-856-3270)

1 事業概要

対象者	来庁者	事業実施主体	衛生課・保健福祉サービス課				
目的及び内容	区民の立場に立った便利で快適な質の高い窓口サービスの提供を目的として、来庁者が座った状態で落ち着いて相談等ができるよう、衛生課窓口の一部をローカウンターに変更する。また、保健福祉サービス課において、ローカウンターを二つに分けてこども総合支援担当と共に使用し、効率的な窓口サービスを提供する。						
事業形態	直営	一部委託	全部委託	その他()		当初予定事業	緊急対応事業
新規・継続	新規	開始時期	平成19年度	関連する事業局・事業内容			
予算額	488,000(円)		決算額	487,200(円)		不用額	800(円)
不用の理由							

2 事業評価(評価できる項目のみコメントを記入する。)

項目	コメント
必要性	衛生課では業者等が複数の図面や資料等を広げて行う相談指導や、複雑な苦情相談を受けることが多く、1件の相談に長い時間を要するため、座った状態での面接環境が必要である。また、保健福祉サービス課では車椅子による来庁も多く、カウンターの出入りに支障を来している。
緊急性・重要性	現状の長机1台は使用頻度が高く、多くは立った状態での相談対応を余儀なくされており、快適な窓口サービス提供の観点から緊急性が高い。また、高齢者や障害者等に対する対応の環境づくりとして重要性が高い。
効率性	既設のローカウンターの切り離し、入れ換えを行うことで既存資材を効率よく利用することができた。また、執務スペースを広げることができ、快適で能率的な執務環境を整えることができた。
成果・達成度	ローカウンターの新設により、座った状態で落ち着いて相談等に応じることができ、快適で効率のよい窓口サービスの提供が可能となった。また、来庁者が快適かつ安全に過ごせる場所となり、併せて窓口環境の整理、清潔保持に努めることにより、窓口が清潔で明るくなった。
総合評価	スクリーンの設置を含めて機能的な設備を施したことにより窓口周辺の環境が改善され、イメージアップにつながった。また、執務環境の改善により効率的な職務遂行につながった。

3 事業の方向性

次年度以降の事業計画	現在までの成果・具体的な展開方針	優先度
見直し・改善の上継続 終了を見越して継続する 現状どおり 終了する		

優先度が：A非常に高い、B高い、C高いとはいえない

平成19年度 宮前区協働推進事業 事業評価書

番号	事業名	担当課(連絡先)
36	区民に使いやすい庁内改善事業	向丘出張所 (044-866-6461)

1 事業概要

対象者	向丘地区区民活動支援コーナー利用者会登録団体	事業実施主体	向丘出張所				
目的及び内容	集会機能のみの設備だけではなく、作業機能としての設備を追加することでさらに利便性を向上させる。集会機能の一部(板の間)を作業機能に変更し、間仕切り壁の増設から独立したスペースとすることで支援コーナーとしては総合的に有効活用ができるようにし、地域のニーズに合った施設の活用につなげる。						
事業形態	直営	一部委託	全部委託	その他()		当初予定事業	緊急対応事業
新規・継続	新規	開始時期	平成19年度	関連する事業局・事業内容			
予算額	669,000(円)		決算額	668,587(円)		不用額	413(円)
不用の理由							

2 事業評価(評価できる項目のみコメントを記入する。)

項目	コメント
必要性	作業機能の追加により、利便性をさらに向上させるものであり、向丘地区区民活動支援コーナーの利用促進にも寄与するものである。
緊急性・重要性	平成18年度の開設から1年が経過していたが、利用登録団体数や利用率が伸び悩んでいた。利用促進策としての機能の追加が求められていた。 利用回数の推移(平成18年度103回、平成19年度145回、平成20年6月現在91回)
効率性	集会機能と作業機能を完全分離することで、それぞれの機能を個々に利用することが可能になり、利便性が格段に向上した。さらに、作業機能へ新たな設備を付加するなど新たな事業展開も視野に入った。
成果・達成度	集会機能と作業機能の分離が完了したので、利用促進を目的とした広報を積極的に行うことができ、登録団体数も若干であるが増加に転じた。 登録団体の推移(平成18年度開設当初28団体 平成20年6月現在32団体)
総合評価	ハード面は概ね整備が完了したが、引き続き、利用状況に応じた環境整備を進めていく。

3 事業の方向性

次年度以降の事業計画	現在までの成果・具体的な展開方針	優先度
見直し・改善の上継続 終了を見越して継続する 現状どおり 終了する		

優先度が：A非常に高い、B高い、C高いとはいえない

第 1 期宮前区区民会議からの提案に対する取組状況

高齢者福祉（18 年度提案）

提案 「ご近所サークルの形成」

「わたしの町のスこやか活動」について、平成 20 年度から「宮前第 4 すこやか活動推進委員会」と「東有馬きずなの会」の 2 団体が新規申請し認定され、新たに活動を開始した（宮前区内で合計 8 ヶ所）

提案 「地域ぐるみの散歩活動などの実施」

新しい公園体操グループが 2 ヶ所立ち上がった（それぞれ週 1 回の開催）

ひだまり体操：南菅生第 2 公園（金曜） 7 月から

神木なかよし体操：フレンド神木駐車場（水曜）6 月から

それぞれの活動内容を紹介しあうなどの情報交換を行う公園体操交流会を 21 年 2 月に開催する方向で検討中

提案 「成年後見制度の普及啓発」

宮前区地域ケア連絡会議全体会「おしえて成年後見制度パート 」を開催

開催日時 平成 20 年 7 月 16 日（水）13:30～16:00

開催場所 宮前区役所大会議室

主催 宮前区地域ケア連絡会議・宮前区地域自立支援協議会

内容 あんしんセンター紹介/ DVD 上映/ 区民の現場レポート/ 司法書士による講演

地域コミュニティ（19 年度提案）

提案 「小学校区単位で地域の特徴を活かしたコミュニティ促進」

20 年度区の課題解決に向けた取組「商店街と連携した地域コミュニティ促進事業」における商店舗等を利用した高齢者や子育てなどの課題解決に繋がる講座等の開催

地域のお祭りなどの情報を地域ごとにわかりやすく発信することをめざした区ホームページや地域ポータルサイト「みやまえばーたろう」への掲載（第 1 段階）より広く地域へ情報発信するための地域の情報カレンダー（紙ベース）の発行（第 2 段階）

小学校区子ども安全・安心協議会における防犯講習会などの出前講座の実施支援

地域教育会議での地域安全マップづくりにおける小学校区子ども安全・安心協議会との連携支援

宮前区子ども安全・安心協議会総会にて、宮前区地域教育会議と連携して地域安全マップづくりの取り組みについて承認を得る。併せて、委員を通して、各小学校区の子ども安全・安心協議会に対して募集をかける（7/11）宮前平小学校から申込あり

提案 「地域のたまり場」の創出

ご近所サークルや赤ちゃん広場など、地域での取組をビデオ、市政だより等により紹介（継続）

20 年度区の課題解決に向けた取組「商店街と連携した地域コミュニティ促進事業」における商店舗等を利用した地域のたまり場の創出支援

【提案 共通】

「宮前区地域課題の解決を図る事業提案制度」で区民会議からの解決策の実施団体を募集（5/1～5/31）したところ、応募はあったがプレゼンテーションの結果、採用に至らず

このため、別途新たに企画を考え、さぎ沼商店会主催によるオリジナルエコバッグコンテストを実施することを決定

その他、蔵敷・東有馬でも商店街と連携した何らかの取組を今年度中に実施する方向で検討中

提案 「『地域のつなぎ手』の育成」

ご近所サークルや赤ちゃん広場など、地域での取組をビデオ、市政だより等により紹介（継続）

20 年度区の課題解決に向けた取組「商店街と連携した地域コミュニティ促進事業」における商店舗等を利用した地域のたまり場の創出支援

当該提案については具体的な事業を実施するものではないため、この 1 ヶ月間においては具体的な取り組みは行われていない。

子育て支援（18 年度提案）

提案 「赤ちゃん広場の拡充」

平成 20 年 7 月 4 日に運営主体であるカンガルーネットワークとの懇談会が開催され、互いの役割や連携について意見交換を実施した。

けやき平地区で、集会所を活用し地域が主体となって親子の居場所づくりに取り組む活動（すくすくけやき平）が、区社会福祉協議会及び区役所の支援のもと 9 月から実施することとなった。

提案 「子育て関連支援組織による協議会(ネットワーク)の立上げと運営」

平成 20 年 6 月 11 日に子育て支援関係者連絡会主催で、転入された親子を対象に「うえるかむクラス」を開催し、65 組の参加があった。

地域防災（19 年度提案）

提案 「(仮称)宮前区版「みんなでやろう防災対策」の作成」

区民との協働による防災意識向上に向けた防災対策資料の作成と活用

20 年度協働推進事業「防災意識普及啓発事業」における防災ニュースの町内会・自治会への回覧や防災フェアの開催などを通じた地域や各種団体への防災意識の普及啓発

区ホームページへの防災や防犯、安全・安心に関するページの作成による情報発信

防災対策資料は年内 12 月をめどにまちづくり協議会と協働で作成するとともに、各種行事で配布して活用することで宮前区まちづくり協議会と合意

防災フェアは、昨年度にまちづくり協議会が有馬小売市場跡地で行った実績を踏まえ、まちづくり協議会と協働して行うよう調整中

実施時期：他の行事と共催するか平成 21 年 1 月の防災とボランティアの週間にあわせ実施する。

実施内容：家屋の耐震化の推進、家具等の転等防止器具や防災資機材の展示、紹介、市民救命士講習、防災講習など

地域における自主防災組織の取組や防犯活動への取組状況などについて、各団体と調整のうえ 9 月をめどに区役所ホームページに掲載する（できるものから順次実施）

提案 「防災出前講座の拡充」

小学校区子ども安全・安心協議会における防災に関する出前講座の実施支援

20 年度区の課題解決に向けた取組「商店街と連携した地域コミュニティ促進事業」における商店舗等を利用した防災に関する講座等の検討

保育園や幼稚園、赤ちゃん広場などにおける出前講座の実施支援

次のとおり、子ども安心・安全協議会や赤ちゃん広場に区職員が赴き、出前講座の受講を促した

・赤ちゃん広場：6/19（平小文） 6/23（宮前平小文） 7/8（保健福祉センター） 7/15（有馬小文）

・子ども安全安心協議会：4/25（平小） 5/12（鷲沼小） 7/1（役員会） 7/11（総会）

・その他：保育園長会（7/17）

提案 「(仮称)宮前区防災推進員の育成」

20 年度協働推進事業「防災意識普及啓発事業」における取組

研修会の開催による区独自の防災推進員の養成

防災ニュースの町内会・自治会への回覧や防災フェアの開催などを通じた地域や各種団体への防災意識の普及啓発

他都市の類似の制度等を調査した。また、防災推進員の養成については次のとおり行うことを決定した

・実施時期：平成 20 年 9 月を目途に、対象者等の募集を行い、10 月から 3 回の研修を行う

・研修内容：近年の自然災害・市の防災対策・自助、共助の重要性・市民救命士（消防局）の資格取得など

公園・地域づくり部会 審議状況について

1 審議スケジュール・進め方

(1) 審議スケジュール

- ・ 部会設置期間：第2期の期間中を通して審議を行うものとする
- ・ 部会案の報告時期：現段階では特に定めず、課題解決策がまとまり次第順次報告する

(2) 審議の進め方

審議の目的を共有 現状と課題の把握 課題の原因分析 課題解決策の審議
という手順で進めることとする。

2 審議内容（2回の部会のまとめ）

部会名称について

- ・ 「公園・地域づくり部会」とすることに決定

部会として具体的に審議するテーマについて

- ・ 「公園」というキーワードから、どの点に着目して今後審議を進めていくのか、という点について意見交換を実施

宮前区の公園緑地の現状と課題について

- ・ 西部公園事務所職員から、公園緑地の維持管理に関して、川崎市の現在の方針、地域の実情等について資料に基づき説明

身近な公園の良い点・悪い点一覧表

名称	所在地	良い点	悪い点	事業・イベント			その他
				名称	対象者	内容	
1 菅生公園 菅生第2公園	菅生 6-3-8 菅生 6-19-1	<ul style="list-style-type: none"> 遊具が好きで子どもがよく遊びに来る ちょうどよい具合に木があり、夏場もそれほど暑くならない きれいな花壇がある 	<ul style="list-style-type: none"> 砂場に猫のフンがあり、子どもを遊ばせたくない 看板が錆びており公園名も分かりにくい。公園のイメージが良く感じられない 			 	<ul style="list-style-type: none"> 遊具が老朽化すると怖い感じがするが、ここの遊具はペンキで絵を描くことで生れ変わっており良いと感じた。
2 菅生第3公園	菅生 5-22-1	<ul style="list-style-type: none"> ゴミなどはあまり落ちていない 	<ul style="list-style-type: none"> 遊具が少なく、子どもが小さい頃も数回しか行かない 砂場にシートがかかっているが、脇に猫のフンがある。シートは紐で縛られており、使うのが面倒 落書きがある 木がそれほど多くないのに、日当たりが悪い 				
3 菅生第4公園	菅生 3-33-9	<ul style="list-style-type: none"> 安全な子どもの遊び場 日当たりがよくグラウンドや小学生向けの遊具があり、放課後は子どもたちがよく遊んでいる 砂場は手入れがよく小さな子どもを遊ばせやすい トイレがある 花壇がある 	<ul style="list-style-type: none"> 段差があり、高所は崩れる 火遊びしやすい 砂場のすぐ近くにトイレがあり臭いが気になる 	夏祭り	子ども大人	300名以上参加。フリーマーケット、売店 青年部婦人部子供会による	
				ラジオ体操	大人	週2回。30~50名参加	
				体操	高齢者	鷲ヶ峯地域包括支援センターがかかわり、テープに合わせて体操をしている。参加者約20名	
				ゲートボール	高齢者	週1回。約20名参加	
4 菅生みどり公園	菅生 6-31-3	<ul style="list-style-type: none"> 砂場、トイレ、時計があり、見晴らしも良く気持ちが良い ゲートボール場がある トイレはきれい 	<ul style="list-style-type: none"> 雑草が伸びており、ゴミがたくさん落ちていた 砂場も枝や草が生えていた 			 	<ul style="list-style-type: none"> 公園緑地愛護会あり 夏場は若者の溜まり場になっているようで、青少年指導員の方が必ず立ち寄る場所だそうです。
5 菅生緑地	水沢1-3	<ul style="list-style-type: none"> 広く木登りなど自然遊びからかくれんぼ、遊具、散歩、バトミントン、キャッチボールなど、さまざまな遊びができる トイレ、時計、ベンチがあり、子どもから大人まで多くの人に利用されている 秋には銀杏並木がきれいに色づき、通る人の心を和ませる 	<ul style="list-style-type: none"> 北部市場から見て奥に茂みがあり、防犯面で心配。警察の方に連れられた男性をみたことがあり、それからは心配になった 暮らしている方がいるのか、洗濯物や布団が干してあるときがある トイレに落書きや焦げたあとがあり怖い感じがする 障害者用トイレがあるが、安全面からか鍵がかけられており使用できない 				<ul style="list-style-type: none"> 利用者のマナーが気になる。 夕方に犬を連れの方が多く、中には大型犬をリードなしで自由に走らせていることがある。 花見のシーズンになると、直火不可なのに、バーベキューをする人がいる 公園利用者の方なのか、休日にはたくさんの路上駐車が目立つ
6 鷲ヶ峰子供の里公園	菅生ヶ丘 19-1	<ul style="list-style-type: none"> 尾根道沿いにありハイキングコースになっている 眺めがいい ローラーの長い滑り台や急な角度の滑り台があり面白い 雑木林でかくれんぼや探検ごっこなどができる 	<ul style="list-style-type: none"> 段差が多い 雑木林が多く子どもにとって好奇心がくすぐられる良い公園だと思うが(自分が子どもの頃は好きな公園でした)大人になった今公園を見ると、昼間でも薄暗く防犯面が心配になる。 実際に小火騒ぎが起きている。 	盆踊り	自治会内全体	2日間。約500名参加。子供会の売店	
				ラジオ体操	子ども	夏休み期間中連日。PTA主催。約30名参加	
				老人会ゲートボール	老人会	月水金。10~15名参加	
				4地区親善ゲートボール大会		月1回第2金曜 菅生ヶ丘、蔵敷、初山、長沢の4地区	
				宮前区ゲートボール審判員研修会		毎月第1土曜日。20名参加	

身近な公園の良い点・悪い点一覧表

	名称	所在地	良い点	悪い点	事業・イベント			その他
					名称	対象者	内容	
7	鷺ヶ峰公園	菅生 3-43-22	<ul style="list-style-type: none"> バス通り沿いにあり、樹木の剪定により明るい公園 花壇の手入れがいい 子どもたち等人が来ている 自治会の役員が変わっても変わらない公園の事務局員が複数いる。 	<ul style="list-style-type: none"> 落葉の利用者がまだ少ない。 	盆踊り	自治会内全体	2日間。約350名参加。売店は実行委員。婦人部、子供会 他	
					お祭り神酒所設置	子ども他一般	約300名参加。菅生神社の例祭。	
8	鷺ヶ峰けや木公園	菅生ヶ丘 33-1	<ul style="list-style-type: none"> 公園は広く見渡しやすい 車などの危険が少なく、子どもをのびのびと遊ばせることができる 	<ul style="list-style-type: none"> 団地に隣接されているが、団地側からは見えにくく、反対側の道路からはまったく公園が見えない 公園の隣には空き地もあり、防犯面で心配だと感じる 	盆踊り	近隣住民	盆踊り	<ul style="list-style-type: none"> 広くて良い公園だと思うのですが、遊んでいる子どもを見かけることが少ない
9	野川第2公園	野川 3136-2	<ul style="list-style-type: none"> 大きい立ち木が多いので、日陰があり快適 周りが金網なので、見通しが良く安全 雨に対し水はけが良い 	<ul style="list-style-type: none"> トイレが無い 三角形の公園で、2面金網で、1面鉄柵のため、ボールが道路に飛び出し危険 犬の連れ込み禁止看板がほしい(13名のお母さんに聞く) 				
10	鷺沼第1公園	鷺沼 1-20	<ul style="list-style-type: none"> 駅からも近く乳幼児を連れて方や保育園の子どもたちをよく見かける 木陰もあり秋には紅葉がきれい 	<ul style="list-style-type: none"> 遊具の奥のベンチは見えづらくゴミや吸殻、落書きも書かれている 公園の裏に向かう通路は暗く防犯面は心配 下の入り口周辺は人通りがあまりなく、トイレ代わりに利用する男性を見かける。衛生面が気になる 				<ul style="list-style-type: none"> 子どもを遊ばせている方に聞いたところ「砂場」には猫のフンなどはなく、小枝があるくらいで、使い辛さを感じたことはない
11	鷺沼公園	鷺沼 2-10-1	<ul style="list-style-type: none"> 敷地も広くグラウンドと遊具の場所が分かれています トイレなどもあり、子どもを遊ばせやすい 緑が多く夏場でも暑さをしのぎながら遊べる ごみなどはほとんどなく、きれい 遊具もきれいに使用されている 	<ul style="list-style-type: none"> 以前、遊具があった場所に今はないため、草や木が伸びており、防犯面での危険があるように感じる 	さわやか体操	高齢者対象だが、オープンで誰でも参加できる	毎週日曜、朝9時半～10時までの30分テープに合わせて体操をする 	<ul style="list-style-type: none"> 公園緑地愛護会あり 公園を見るといつも多くの方が利用されていますが、注意書きが遊具に貼ってあり、多くの方が利用者するのはよいことだけど問題も発生してくるのだろうかと思いました。
12	鷺沼北公園	鷺沼 4-11-45	<ul style="list-style-type: none"> 電灯の数が多く夜間でも他の公園と比べると明るい(雑木林は暗い) 砂場などはいつもきれいで子どもを遊ばせやすい もともとあった自然の花(オカトラノオヤブランなど)を生かしている 時計があって時間がわかりやすい 公園から見える景色がきれい(どの方角に何があるかの標識もある) 	<ul style="list-style-type: none"> 高台にあり崖の下から登る子どもがいて危ない(私はがんばれと思うほうですが...) 雑木林があり昼間でも暗く見通しが悪く、防犯面で危険が感じられる 景色の良い反面(夜景の名所などにも紹介)景色が良く見えるベンチ付近には、ゴミや煙草の吸殻などが捨ててある 雑木林などが多いため、火事にならないか心配なときがある 遊具以外の破損や、落書きをされることもあるそうです 				<ul style="list-style-type: none"> イベントはないが、初日の出や多摩川花火大会の日には多くの方が訪れています

身近な公園の良い点・悪い点一覧表

No.	名称	所在地	良い点	悪い点	事業・イベント			その他
					名称	対象者	内容	
13	蔵敷公園	菅生 5-23-45		<ul style="list-style-type: none"> ・ 砂場にシートがあるが、壊れかかり、上から流れてきたのか、砂ではなく土が入っている ・ 高齢者体操が開催されているが、地面はでこぼこしており、石ころがたくさんあり、転倒の危険性がある ・ 日当たりが悪く暗い感じがする ・ 住宅街の中にあるが、飲食店の裏にあるため、人があまり通らず、防犯面が気になる 	高齢者の体操	高齢者	鷲ヶ峯地域包括支援センターがかかわり、テープにあわせて体操をしている。参加者約20名	<ul style="list-style-type: none"> ・ 公園緑地管理運営協議会あり ・ 「体操に来て交流できることが楽しみ」「体操がなかったら公園に来ることはない」と話していた。 ・ 体操を行う場所がでこぼこしていたり石ころがあるため、人を誘うにも転んだらと思うと声をかけられないと話していた。 ・ 砂場にシートがあり遊んではいけないと思っていた。孫と遊びたいが砂場が使えない。管理が悪いから近くの蔵敷第3公園に孫を連れて行くと話された。
14	蔵敷第3公園	菅生 5-22-4	<ul style="list-style-type: none"> ・ 眺めがよい ・ 明るい ・ 子どもが小さなころに利用したが、きれいで使いやすかった。ただし、自宅からは坂を上るため、時々利用 ・ 小さな子ども向けの遊具があり、砂場もきれい ・ ベンチの上には「すだれ」がかけられ、日陰が作られている ・ ごみ箱がある 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 特に感じられないが、注意書きの看板がいくつもあった ・ 砂が猫等で汚れている 	ラジオ体操	子ども高齢者	30～50名参加	
					ゲートボール	高齢者	週1回。約20名参加	
					高齢者の体操	高齢者	鷲ヶ峯地域包括支援センターがかかわり、テープにあわせて体操をしている。参加者約20名	
					盆踊り	自治会内全体	500～600名(内、子ども300～400名)参加	
15	有馬ふるさと公園	有馬 8-26-4	<ul style="list-style-type: none"> ・ 子どもが小さいころ、自主保育のイベントなどに参加した。 ・ 自然が多くセミを見つけたり公園内を駆け回り、子どもは楽しそう 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 木が生い茂り防犯面で問題がある 	プレイパーク	乳幼児	毎日ではない	<ul style="list-style-type: none"> ・ 防犯面で問題はあるが、この公園で遊ぶ子どもたちのキラキラした目を見ると整備された公園だけではなく、このような公園は必要だと思います。
16	みなみだいら公園	南平 5-7	<ul style="list-style-type: none"> ・ テニスコートがある(学生などお金のない世代にはありがたい) 					<ul style="list-style-type: none"> ・ 学生にも使いやすい公園ということでは特徴がある。
17	南平台なかよし公園	南平 15-21	<ul style="list-style-type: none"> ・ 比較的新しい公園のため、遊具下にはマットが敷いてあり、子どもを安心して遊ばせることができる ・ 団地の中心地にあり、時間帯は違うものの、さまざまな年代が利用している 		体操	高齢者	鷲ヶ峯地域包括支援センターがかかわり、テープにあわせて体操をしている。参加者約20名	
18	神木公園	神木 1-4	<ul style="list-style-type: none"> ・ 好天気の時12時前後は、乳母車の親子連れ10～15組がランチタイムを楽しんでいる 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 犬の散歩時に犬が花壇に入って荒らしたり糞をしても放置している 	神木ふれあい祭り	幼児から高齢者まで 神木12丁目、宮崎6丁目	落ち葉拾いと焼芋、売店(自治会員による) 絵画写真展手芸花の苗(シニア会員) 野菜即売会(地元農家) フリーマーケット、餅つき大会 アルコール類は無し	<ul style="list-style-type: none"> ・ 毎月第4土曜日に管理運営協議会員とシニア会員による公園清掃および花壇の手入れ ・ 6月、9月、11月に、自治会、運営協議会員合同による公園清掃 ・ 高木は地上5mまで枝木剪定、低木は地上50cm以上は剪定
					ラジオ体操会	幼稚園児、小学生 神木12丁目	7月夏休み開始の1週間、朝6時30分から行う。7日間皆勤者には商品を授与。	
19	児童公園(高山団地)	平 2-23-8	<ul style="list-style-type: none"> ・ 遊具が新調された ・ 公園全体がアパートに面しているため、防犯上とても安心 ・ 子どもが直接車道へ飛び出す心配がない 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 砂場が機能していない。地面と変わらないくらい固い ・ ベンチがなぜか石(それもざらざらした表面)。長持ちするし、管理しなくていいからか? 				<ul style="list-style-type: none"> ・ なぜここだけ遊具が新調されたのか? この広さで滑り台が2つもある。 ・ 風久保公園はベンチの修理すらしてもらえない。

身近な公園の良い点・悪い点一覧表

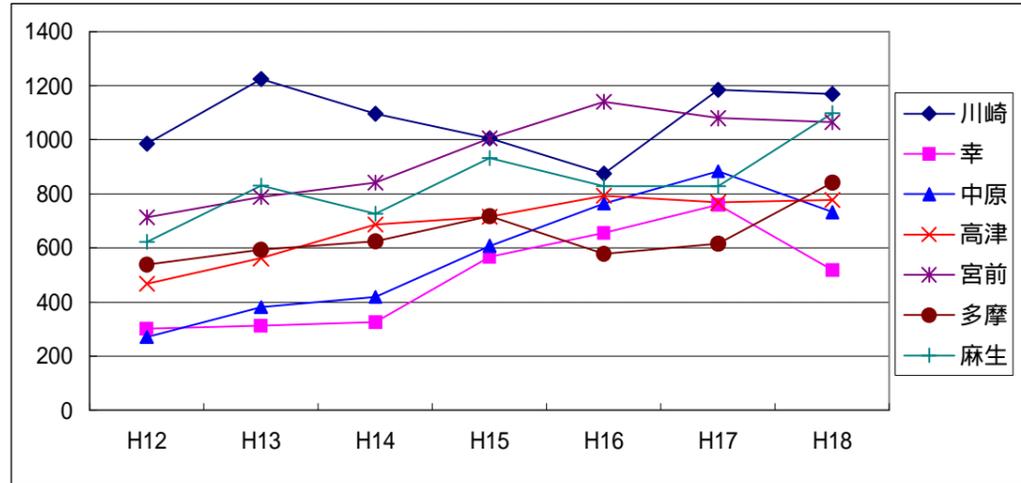
No.	名称	所在地	良い点	悪い点	事業・イベント			その他
					名称	対象者	内容	
20	平公園	平 2-14-1	<ul style="list-style-type: none"> 夏は木陰がたくさんで涼しい 雨が降れば、すぐ正面のこ文に移動できるので便利 3層式になっていて、走り回るのにも十分 斜面地や階段など、子どもたちの恰好の遊び場になっている 正面の保育園の園児も遊びに来ることがあり、一緒に遊べる 	<ul style="list-style-type: none"> 近所に危険人物がいて、しばしば出没する。 私自身も、子どもが作った泥団子を子どもたちの目の前で蹴飛ばし踏みつけられ、さらに怒鳴られるという被害にあった 幼稚園のバス停にも文句をつけて回り、基本的には女性と子どもにしか危害を与えない 				<ul style="list-style-type: none"> 事件の際に怯えて泣き出した息子たちは、あまりこの公園に行きたがらない。 機能的にはとてもよい公園なのに残念。 水道が無いため、手洗い用の水をペットボトルに入れ持参している。
21	平4丁目公園	平4-17	<ul style="list-style-type: none"> 広々としていて、時間を問わず利用者が多い 公園外の広範囲から公園内(二層になっている公園の一層部分)がよく見渡せる 川沿いにある公園横通りは、散歩している年配の方など人の通りも多い 	<ul style="list-style-type: none"> 砂場が無く、皆、グラウンドの砂利を集めて遊んでいるので、小さくてもよいのであるとうれしい。 夕方になると大人が小学生数人を引き連れて野球を教えたり、小学生がサッカーをしていたりするのだが、その都に玉が幼児達の方へ飛んでくる。なので、利用者はほとんど午前中に集中するようにしている。 	夏祭り			<ul style="list-style-type: none"> せっかく遊具スペースとグラウンドスペースが分かれているのだから、ネットなどの壁があれば安全でうれしい。
23	平寺山公園	平 1-23-5	<ul style="list-style-type: none"> (一度しか利用していない) 	<ul style="list-style-type: none"> この公園で遊ばせるには勇気がいる 利用者を見たことがない 普段でも雑草だらけで、夏場は1m以上の高さまで草が生い茂り、立ち入れない 公園入り口は通りから10m以上の路地奥にあり、ほとんど人目につかない 敷地となりが山というか、真っ暗な雑木林で怖い 遊具が雑草に埋もれている。たとえ草刈をしても、環境的に子どもを遊ばせるのは不安。 			  <p>遊具周辺の雑草</p>	<ul style="list-style-type: none"> 通りから公園までの路地はフェンスで囲まれており、いざという時荷は逃げ場がない。かといって、フェンスを取り除けば、隣マンションの駐車場敷地との区別がつかなくなり、居住者から苦情も出るだろう
22	平風久保公園	平 1-11-30	<ul style="list-style-type: none"> 息子(5歳)と遊んでくれる小学生が増えた 公園を取り巻く家がほとんど知人友人宅なので安心感がある これまでに、この公園での不審者情報は得ていない 	<ul style="list-style-type: none"> 犬のフンが掃除をしても掃除をしても減らない ベンチがなぜ石(それもごつごつした素材)なのかわからない。使えない 公園管理事務所に電話をしても、対応に時間がかかる。が、年度末にフェンスの取り壊しをお願いしたときだけはなぜか素早かった。 			 <p>石のベンチ</p>  <p>中途半端に修繕されたベンチ。隙間が大きく、ボルトの穴が残る</p>  <p>犬のフンを隠して帰るマナーの悪い利用者が多いので、看板をお願いしたら、3ヶ月ほどで設置された</p>	<ul style="list-style-type: none"> 一番よく利用している公園 ブランコなどは、宝くじからの寄贈

● 公園・緑地等位置図



- ・・・体操実施場所(18ヶ所、その他公園以外で5ヶ所)
- ・・・自主保育・子育てサークル活動場所(7ヶ所、その他子ども文化センター等でも実施)
- ・・・公園緑地愛護会あり
- ・・・公園緑地管理運営協議会あり

【公園緑地・街路樹等に関する苦情の推移】



	H12	H13	H14	H15	H16	H17	H18
川崎	985	1,224	1,097	1,006	875	1,185	1,168
幸	301	312	326	567	656	759	518
中原	271	382	419	608	764	883	732
高津	468	562	686	716	793	768	777
宮前	714	789	841	1,004	1,141	1,079	1,065
多摩	538	593	624	717	578	615	841
麻生	622	830	727	933	829	829	1,098
全市	3,899	4,692	4,720	5,551	5,636	6,118	6,199

【公園緑地愛護会と公園緑地管理運営協議会の設置状況】

平成19年3月31日現在

(人口はH19.4.1現在)

	人口	公園数(A)	愛護会数(B)	協議会の数(C)	合計(D=B+C)	設置率(D/A)
川崎区	208,932	152	63	57	120	78.9%
幸区	145,082	94	43	38	81	86.2%
中原区	217,135	106	41	44	85	80.2%
高津区	208,467	140	68	16	84	60.0%
宮前区	209,789	190	83	43	126	66.3%
多摩区	205,929	151	69	18	87	57.6%
麻生区	159,579	284	111	31	142	50.0%
合計	1,354,913	1,117	478	247	725	64.9%

【平成19年度の地域における公園の利用状況など(宮前区内)】

<公園内行為許可>

内容	件数	備考
地域等のイベント	32	バザー、映画会、防犯パトロール集会、移動動物園、地域交流会
祭り	29	夏祭り、盆踊り大会、こどもまつり、こども文化センター祭り
保育園・幼稚園等の行事	18	移動動物園、盆踊り、運動会、バザー
防災訓練	15	町会、マンション、こども文化センター等の防災訓練
その他	13	テレビ撮影等
合計	107	

<公園緑地管理運営協議会 利用調整報告>

内容	件数	備考
地域等のイベント	6	ゲートボール等の大会、ドッジボール大会、餅つき大会
祭り	14	祭り、盆踊り大会
防災訓練	4	防災訓練、炊き出し訓練など
その他	6	ラジオ体操、太極拳など
合計	30	

【平成19年度の公園緑地・街路樹等に関する苦情等の状況(西部公園事務所管内)】

内容	高津区	宮前区	合計
公園緑地	692	976	1,668
樹木剪定	109	132	241
落葉	2	1	3
草刈、除草等	48	77	125
施設補修	110	127	237
遊具補修等	64	84	148
電気施設	32	45	77
トイレ	13	16	29
水道	28	60	88
ゴミ問題	47	71	118
害虫問題	23	50	73
騒音問題	0	0	0
ホームレス問題	7	7	14
ペット問題	6	17	23
駐車場	0	0	0
カラスの駆除	28	23	51
その他	175	266	441
街路樹	78	226	304
剪定	41	153	194
草刈、除草	11	7	18
落葉	0	1	1
害虫問題	6	12	18
カラスの駆除	5	11	16
ゴミ問題	0	0	0
その他	15	42	57
利用マナーについて	0	0	0
職員の対応について	0	0	0
その他	0	0	0
合計	770	1,202	1,972

集計対象は電話、来訪、市長への手紙及び文書によるものとする。

宮前区の宝さがし～ときめき再発見～部会 審議状況について

1 審議スケジュール・進め方

(1) 審議スケジュール

- ・ 部会設置期間：第2期の期間中を通して審議を行うものとする
- ・ 部会案の報告時期：現段階では特に定めず、課題解決策がまとまり次第順次報告する

(2) 審議の進め方

審議の目的を共有 現状と課題の把握 課題の原因分析 課題解決策の審議
という手順を進めることとする。

2 審議内容（2回の部会のまとめ）

部会名称について

- ・ 「宮前区の宝さがし～ときめき再発見～部会」とすることに決定

部会として具体的に審議するテーマについて

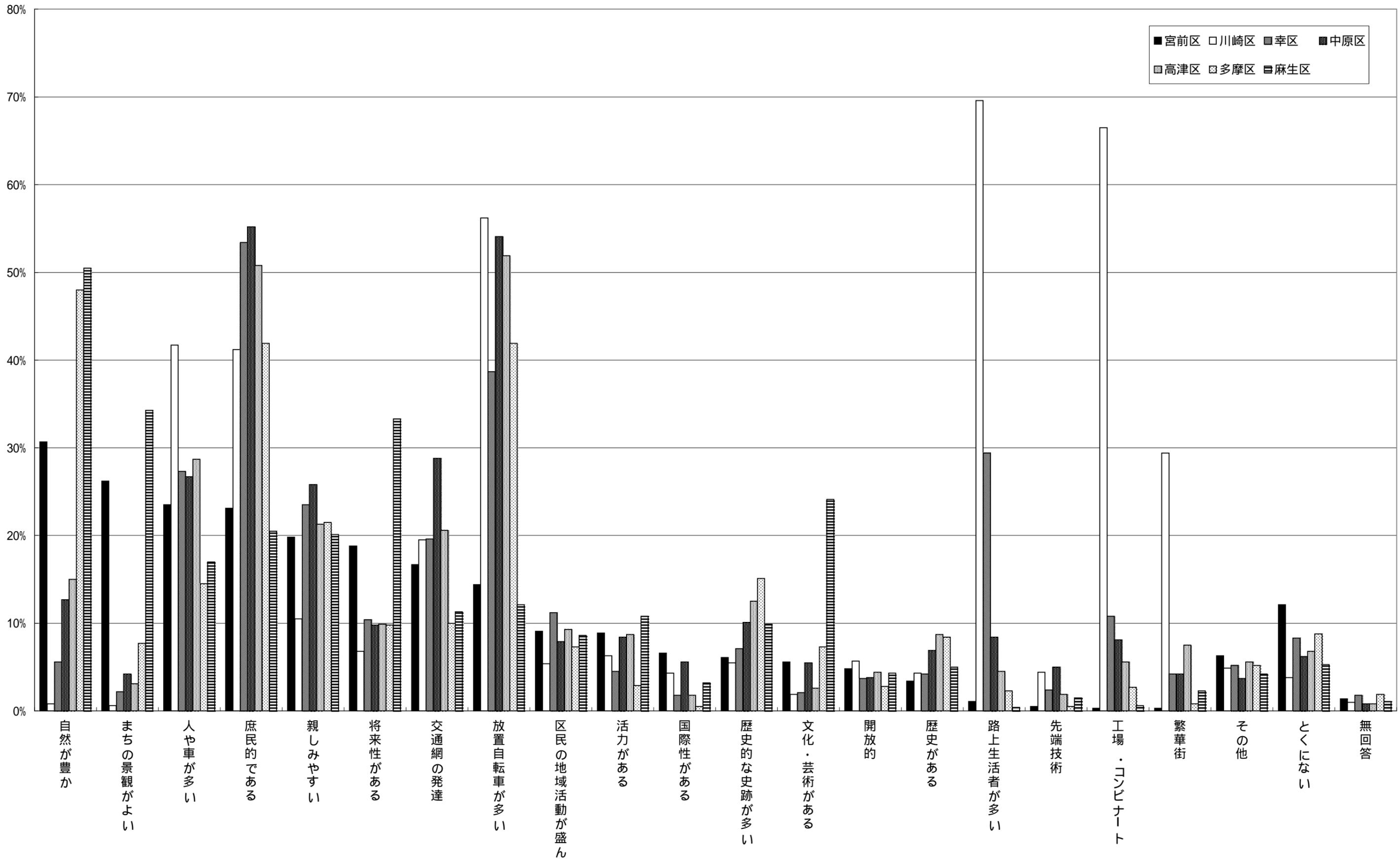
- ・ 各委員の考える宮前区の「顔」や「宝」についてフリートーキングを実施

内外からみた宮前区のイメージについて

- ・ 「宝」を探するための1つの手がかりとして、現在の宮前区内外からどう見られているのか、またどういった意図でまちづくりが行われてきたのかを委員の間で認識を共有

住んでいる区のイメージ

(宮前区のポイントが高い順)



宮前区地域資源一覧

	観光スポット類型	区分	内 容
1	緑関係	緑地・公園	生田緑地(かながわの公園50選、かながわの探鳥地50選、かながわ未来遺産100選)、菅生緑地、東高根森林公園(かながわの公園50選、かながわの景勝50選)、カップパーク鷺沼
		草花・樹	有馬つつじ公園、有馬梅林公園、野川梅の里、有馬椿の里、有馬植木の里(かながわのなちなみ100選)、馬絹の花桃(かわさきそだち)、等覚院のツツジ(かながわの花の名所100選)、野川のコスモス畑、東高根のシラカシ林(かながわの美林50選)、馬絹の小菊(かわさきそだち)
		保全緑地・樹木	南野川ふれあいの森(南野川特別緑地保全地区)、野川ふれあいの森(野川特別緑地保全地区)、野川十三坊台特別緑地保全地区、平中学校の保存樹林、
		まちの樹	影向寺の乳イチョウ(かながわの名木100選)、影向寺(イチョウ、サルスベリ:川崎まちの樹50選)、泉福寺(イチョウ、サルスベリ)、小台(イヌツゲ、イロハカエデ:川崎まちの樹50選)、菅生宮(イトヒバ:川崎まちの樹50選)、白幡八幡大神(クスノキ:川崎まちの樹50選)、平(ケヤキ:川崎まちの樹50選)、有馬(ケヤキ:川崎まちの樹50選)、下有馬不動尊(ヤブツバキ:川崎まちの樹50選) 神木本町平瀬川沿い(ムクノキ:川崎まちの樹50選)
2	河川・水路	河川・水路	平瀬川、有馬川、矢上川
3	遺跡・文化財	古墳	馬絹古墳(県指定史跡)、川崎考古学研究所
		遺跡	権現台遺跡、東高根遺跡(県指定史跡:東高根森林公園内)、潮見台遺跡、十三菩提遺跡、野川神明社境内遺跡
		史跡	野川神社境内史跡、疱瘡神、市内最初の向ヶ丘図書館
		建造物	影向寺薬師堂(県重要文化財)
		彫刻	木造 薬師如来両脇侍像(重要文化財:影向寺)、木造 二天立像(市文化財:影向寺)、木造 十二神将立像(市文化財:影向寺)、木造 聖徳太子立像(市重要歴史記念物:影向寺)、木造 薬師如来坐像(市重要歴史記念物:等覚院)
		絵画	板面着色絵馬 泉福寺薬師会図(市重要歴史記念物:泉福寺)、板面着色絵馬 泉福寺境内相撲図(市重要歴史記念物:泉福寺)
		書籍・古文書	後北条氏の虎の印判状 永禄元年五月十一日付、甲子三月二十三日付、天正十五年九月二十日付(市重要歴史記念物:個人所有)
		有形民俗	獅子頭(市重要郷土資料:初山獅子舞保存会)
天然記念物	東高根のシラカシ林(県指定天然記念物)		
4	石造物	地蔵尊・石物	西蔵寺の庚申塔
		石碑	
		現代彫刻	
5	建築物		影向寺薬師堂(かながわの建築物100選)
6	文化施設		
7	アミューズメント施設		電車とバスの博物館、サギヌマポウル、フロントタウン鷺沼
8	民族芸能・行事		初山の獅子舞(県無形民俗文化財)、平囃子、野川囃子、有馬囃子、有馬大正踊り八木節、土橋万作踊り、禰宜舞(市重要習俗技会)、神木獅子舞、御嶽講、三峯講
9	祝い歌・音頭		宮前音頭
10	神社・仏閣		影向寺、西蔵寺、秋月院、正福寺、長安寺、慈照寺、浄照寺、泉福寺、東泉寺、長善寺、等覚院、長尾寺、如意院、本遠寺、千手堂、福王寺、野川神明社、和田八幡宮、有馬神明神社、有馬不動堂、馬絹神社、八幡神社、八雲神社(天王社)、土橋神社、神木天満宮、白幡八幡大神、菅生神社、犬蔵天神社
11	街並み・道		長坂、島坂、庚申坂、八幡坂、白井坂、王禅寺道
12	果樹園・特産品		宮前メロン(かわさきそだち)、宮前のブロッコリー(かわさきそだち)、宮前のトマト(かわさきそだち)、宮前のダイコン(かわさきそだち)、お好み甘納豆(かわさき名産品)、カップブディング(かわさき名産品)、神木とろ〜りプリン(かわさき名産品)、ハーフビネガー(かわさき名産品)、唐辛子エッセンス(かわさき名産品)、ふる舞いそば(かわさき名産品)、わがままイチゴ、稗原の産みたて卵
13	村名・地名等		
14	その他		有馬療養温泉旅館、天然温泉ゆけむりの庄

第2期宮前区区民会議 今後のスケジュール(案)

年度 月	平成 20 年度												平成 21 年度											
	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
全体会		第 1 回区民会議				第 2 回区民会議							第 3 回区民会議											第 4 回区民会議
	企画			●				●			●					●						●		
	公園・地域			●	●				●	●						●	●					●		
	宝さがし			●	●					●	●					●	●					●		
その他																								フォーラム
解決策がまとまり次第、区長へ報告												第2期 総括												

平成 20 年度 第 2 回 宮前区区民会議 次第（案）

平成 20 年 8 月 6 日(水) 18 時 00 分～20 時 30 分

宮前区役所 4 階 大会議室

次 第

1 開 会

2 議 事

(1) 第 1 期区民会議からの提案に対する取組状況について

(2) 専門部会の審議状況について

ア 公園・地域づくり部会報告

イ 宮前区の宝さがし～ときめき再発見～部会報告

ウ 企画部会報告

3 報 告

(1) 平成 19 年度宮前区協働推進事業評価について

(2) 平成 20 年度川崎市総合防災訓練の概要について

(3) カーボン・チャレンジ川崎（CCかわさき）について

4 その他

配布資料

資料 1 第 1 期宮前区区民会議からの提案に対する取組状況

資料 2 宮前区区民会議 公園・地域づくり部会の審議状況

資料 3 宮前区区民会議 宮前区の宝さがし～ときめき再発見～部会の審議状況

資料 4 第 2 期宮前区区民会議 今後のスケジュール（案）

資料 5 平成 19 年度宮前区協働推進事業評価一覧表

資料 6

資料 7